

決 算 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
56,139,813 円	円	円	円	27,739,327 円	28,400,486 円

1 労働者対策事業

予算現額 49,271,000 円
 事業決算額 48,459,912 円
 予算執行率 98.4 %

中小企業等の労働者の福利厚生及び労働環境の改善を促進するため、津商工会議所、各労働団体及び一般社団法人三重中勢勤労者サービスセンターが実施する労務対策等事業を支援するとともに、勤労者の生活支援のための協調融資事業を実施した。

また、三重労働局との雇用対策協定に基づき、障がい者や若者のための合同企業説明会等の開催を通じて、市内企業の雇用、労働環境の改善及び就労支援の強化並びに人材確保等を推進した。

(1) 中小企業等雇用労働対策事業

《 事業概要 》

津商工会議所が実施する中小企業等の雇用労働対策事業、地域経済及び地域社会の健全な発展に寄与する事業を支援した。

区分	金額 (円)
中小企業等雇用労働対策事業補助金	2,865,000

《 事業評価 》

津商工会議所による労働者の福利厚生レクリエーション行事や企業の採用力アップのためのセミナーの実施、企業と大学生の交流会の開催等を通して、勤労者の福祉の増進、労働者間の交流とともに、雇用の促進等を図ることができた。

(2) 労働団体助成事業

《 事業概要 》

中勢地区労働者福祉協議会ほか3団体が、労働者の社会的、経済的地位の向上及び福祉の増進を図るために実施する事業を支援した。

区分	金額 (円)
労働関係団体事業補助金	4,727,000

《 事業評価 》

各労働団体による文化・教養講座、体験教室、スポーツ・レクリエーション活動等や労働に関する相談会等の実施を通して、労働者の教養・福祉・健康の増進、労働者相互の交流等を図ることができた。

(3) 三重中勢勤労者サービスセンター福祉共済利用促進事業

《 事業概要 》

勤労者の福祉増進、雇用の安定、中小企業等の支援のための事業や地域の活性化を促進するための事業等を実施する当該サービスセンターを支援した。

会員事業所数 561事業所 会員数 6,671人 (令和2年3月31日現在)

区分	金額 (円)
三重中勢勤労者サービスセンター運営補助金	13,000,000

《 事業評価 》

生活安定事業、健康維持増進事業、余暇活動事業、文化教養事業、チケット斡旋事業及び情報提供事業など、会員事業所の勤労者に対し各種福利厚生事業を実施する当該サービスセンターへの支援を通じ、勤労者の福祉増進、余暇の充実、文化教養の向上及び勤労意欲の高揚を図ることができた。

担当 商業振興労政課

2 勤労者福祉センター管理運営事業

予算現額 6,059,326 円
事業決算額 6,059,008 円
予算執行率 100.0 %

《 事業概要 》

勤労者の福祉の増進と勤労意欲の高揚を図るため設置している津市勤労者福祉センター（サン・ワーク津）の管理、運営を行い、勤労者、企業をはじめ各種団体が実施する研修会や交流会等の事業に対し、会議室や研修室等を提供した。

利用件数 (件)	利用者数 (人)
1,990	49,918

《 事業評価 》

指定管理者による積極的な施設利用促進啓発などにより、勤労者、企業をはじめ各種団体等が開催する会議や研修、健康診断などの会場として活用され、勤労者の健康増進や勤労意欲の向上に寄与することができた。

担当 商業振興労政課

3 勤労青少年対策事業

予算現額 1,873,674 円
事業決算額 1,620,893 円
予算執行率 86.5 %

《 事業概要 》

勤労青少年の余暇の充実や福祉の増進及び同世代の勤労者間の交流を図るため、各種教養講座を実施した。

長期講座 (5講座) 受講生 (延べ人数) 45人

抹茶、料理、写真、美文字、手話

短期講座 (5講座) 受講生 (延べ人数) 58人

英会話1、英会話2、声トレ&表現力アップ、ヨガ・ピラティス、アロマ&ハーブ

《 事業評価 》

余暇に各種講座を受講することで、勤労青少年が職場以外での交流を深め、生活を豊かにする教養を身に付けるなど、勤労者福祉の向上を図ることができた。

担当 商業振興労政課

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
109,679,752 円	円	15,764,000 円	円	683,300 円	93,232,452 円

2 農地調査・調整事務事業

予算現額 150,000 円
 事業決算額 149,568 円
 予算執行率 99.7 %

《 事業概要 》

農地に関する紛争が生じた場合の調査、仲介等の事務及び農地所有適格法人の資格要件を確認する事務を行った。

《 事業評価 》

農地所有適格法人からの報告書により事業の状況を把握し、資格要件に適合していることを確認することができた。

また、農地の権利関係等に関する相談に対して、農業委員会が指導を行ったことにより、農地に関する紛争等を未然に防ぎ、適正な農地の管理を図ることができた。

担当 農業委員会事務局

3 国有農地等管理处分事業

予算現額 290,000 円
 事業決算額 289,799 円
 予算執行率 99.9 %

《 事業概要 》

知事が管理者である農林水産省所管の国有農地及び開拓財産について、関係機関との調整及び管理事務を行った。

《 事業評価 》

国有農地及び開拓財産に関し、県との連絡調整を行うことにより整理簿の管理等を適正に行うことができた。

担当 農業委員会事務局

4 農業者年金受託制度事業

予算現額 320,000 円
 事業決算額 319,108 円
 予算執行率 99.7 %

《 事業概要 》

農業者年金基金からの業務委託による年金被保険者資格、経営移譲年金及び老齢年金の裁定等確認事務を行った。農業者年金の裁定の確認・未支給請求等の確認件数は71件であった。

《 事業評価 》

農業者年金の加入推進及び加入者・年金受給者に対する諸手続きの指導、給付等の申請についての確認業務を行ったことにより、農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上に資することができた。

担当 農業委員会事務局

5 農業委員会一般事務事業

予算現額 33,155,000 円
 事業決算額 32,449,185 円
 予算執行率 97.9 %

《 事業概要 》

農業委員会等に関する法律により組織される行政委員会として、法令による農業委員会の権限事項について、毎月1回、第1及び第2農地部会を開催し、農地の権利移動や農地転用等の審査及び許認可事務を行った。

また、部会開催前に、農業委員及び農地利用最適化推進委員で、審査案件に係る現地調査を行った。

農地利用の最適化の推進について、農地利用最適化推進委員が中心となり、日頃から農地パトロールや農業者からの相談・対話などを通じ、遊休農地の早期発見・情報収集に努めながら、農業委員会委員と連携し、担い手など農業者との農地の利用調整や所有者等への農地保全の管理指導など、その後の農地が有効に活用できるよう取り組んだ。

委員報酬

区分	人数 (人)	報酬額 (円)
農業委員会委員	24	6,804,000
農地利用最適化推進委員	86	20,640,000

農地の権利移動・転用等処理件数及び面積

区分	件数 (件)	面積 (a)
農地法第3条許可申請	144	2,617
農地法第4条許可申請	56	334
農地法第4条届出	26	88
農地法第5条許可申請	458	4,088
農地法第5条届出	181	1,521

《 事業評価 》

農地法に基づく審査及び許認可事務を適正に行うことで、農地の無秩序な転用を防ぎ、優良農地の確保を図ることができた。

担当地区を決めて、農地利用最適化推進委員が活動することにより、遊休農地の発生防止・解消、農地の利用集積など、地域に根差した農地利用の最適化を推進することができた。

また、農業委員会だよりの発行により農業に関する様々な情報提供を図ることができた。

担当 農業委員会事務局

款 6 農林水産業費 項 1 農業費 目 2 農業総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
270,691,428 円	円	1,549,000 円	円	18,600 円	269,123,828 円

2 農業総務一般事務事業

予算現額 5,752,000 円
 事業決算額 5,366,037 円
 予算執行率 93.3 %

《 事業概要 》

農業費全般に係る一般事務として、事務用消耗品の購入、複写機借上等の執行及び公用車の維持管理等を行った。

《 事業評価 》

一般的な事務経費をはじめ公用車の維持管理経費等について、適切な執行に努めることができた。

担当 農林水産政策課

款 6 農林水産業費 項 1 農業費 目 3 農業振興費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
531,159,507 円	5,575,000 円	257,293,146 円	円	3,743,972 円	264,547,389 円

1 農業振興一般事務事業	予算現額	34,549,000 円
	事業決算額	26,129,273 円
	予算執行率	75.6 %

《 事業概要 》

農林水産物等のブランド化や津産津消の総合的な推進を図るため、地区農政推進協議会に対し支援を行うとともに、市、県、JA、農業委員、農地利用最適化推進委員の農業関係機関5者が一堂に会し、担い手不足、遊休農地増加、獣害対策等の地域農業の課題解決に向け徹底的に話し合う令和版営農会議を市内12エリアに設置して会議を行った。

なお、執行率が75.6%となった要因は、農業振興地域整備計画策定事業（事業費：5,576,040 円）を令和2年度へ繰越したことによる。

区分	内容	金額（円）
地区農政推進協議会補助金	地区農政の推進事業への支援	535,010
令和版営農会議	農業関係機関5者による会議の始動	35,423

《 事業評価 》

市内外における各種イベントでの特産品13品目の啓発パンフレット等の配布及び啓発パネルの展示など、津市産農林水産物のPRを通じて津産津消、津産他消の推進や地区農政推進協議会における先進事例調査等により、地域の特性や実情に応じた農政の推進を図ることができた。

また、令和版営農会議を各エリア2～3回開催することにより、関係機関相互の顔の見える関係の構築と地域が抱える課題解決に向けた取組を推進することができた。

担当 農林水産政策課

2 農業振興支援事業	予算現額	279,747,000 円
	事業決算額	276,185,262 円
	予算執行率	98.7 %

農業の持続的な発展を図るため、多様な担い手の育成・確保、6次産業化に向けた取組、農地・農業用水等の資源や農村環境を守る地域ぐるみの取組等に対して、支援を行った。

(1) 農林水産物利用促進事業

《 事業概要 》

本市の魅力ある農林水産物の地域内外への発信と、販路開拓などのマーケティングを一体的、戦略的に推進する津市農林水産物利用促進協議会に対し負担金を拠出し、市内で生産される農林水産物の生産・消費の結びつきの強化と安定的な流通ルートの構築、新たな価値の掘り起こしや6次産業化の推進を図り、本市の農林水産業の積極的な情報発信による活性化と、消費拡大から生産振興へ結びつける好循環の創出を図った。

また、津市産農林水産物のPRと津産津消をテーマとした農林水産まつりを開催した。

区分	内容	金額 (円)
農林水産物生産消費循環システム構築事業	津市産農林水産物のマッチングイベント、PRイベントの開催及び津産津消推進店の加入促進	444,000
農林水産物利用促進協議会負担金	津産津消の推進及び市内外の販路拡大、ブランド化推進品目のPR等	934,000
市民農業塾	野菜等のは種から栽培、出荷方法までをプロの農家が直接指導	380,000
農林水産まつり	市内で採れた新鮮で良質な農林水産物の販売、あおさ汁の振舞いや各種体験(木工教室等)を実施	500,000

《 事業評価 》

津市産農林水産物のプロモーションビデオと津市農林水産物利用促進協議会のホームページの活用により、市内で生産される農林水産物の積極的な情報発信を図り、市内外での津市産農林水産物のPRイベントや市内事業者等を対象としたマッチングイベントの開催により、新たな販路の創出や6次産業化の推進を図ることができた。

また、農林水産まつりにおける津市産農林水産物のPRや生産者と消費者との交流等を通じて、津市産農林水産物の消費拡大、津産津消の促進を図ることができた。

(2) 集落営農促進対策事業

《 事業概要 》

集落営農組織の運営基盤の強化を図り、農業生産性の向上と集落の活性化に資するため、集落営農組織に対し共同利用機械等の導入に係る支援を行った。

区分	内容	金額 (円)
共同利用機械等購入支援事業	機械等購入補助 11組織	18,464,000

《 事業評価 》

コンバインやトラクター、スマート農業機器等共同利用機械の導入を支援したことにより、集落営農組織の運営基盤の強化を図ることができた。

(3) 農用地流動化促進事業

《 事業概要 》

農用地の効率的な利用を促進し、認定農業者など担い手への利用集積を促進するため、新規に利用権を設定した担い手に対する支援を行った。

区分	内容	金額 (円)
農用地流動化促進事業	担い手への新規の農地集積 53ha	5,364,800

《 事業評価 》

認定農業者等担い手への農用地集積を継続的に促進することで、経営の安定化を図るとともに、遊休農地の発生防止を図ることができた。

(4) 多面的機能支払交付金事業

《 事業概要 》

農地や農業用水等の農業基盤の維持管理と農村環境における資源の質的向上を図るため、地域ぐるみでの共同活動の取組を支援した。

また、老朽化が進む水路等の施設の長寿命化を図るための活動の取組を支援した。

区分	内容	金額 (円)
多面的機能支払交付金事業	農地維持活動への支援 115組織	103,280,500
	資源向上活動への支援 79組織	47,160,628
	長寿命化活動への支援 26組織	39,560,220

《 事業評価 》

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮の推進により、農地においては、耕作放棄地の発生が防止されるとともに、農業用施設においては、基礎的な保全活動や補修等による施設の機能維持を図ることができた。また、地域資源が適切に保全管理されることにより、農村地域が持つ多面的機能の増進を図ることができた。

(5) 環境保全型農業直接支払交付金事業

《 事業概要 》

農業分野においても、地球温暖化防止や生物多様性の保全に向けて積極的な貢献をしていくため、環境保全に効果の高い営農活動を行う農業者に対して支援を行った。

区分	内容	金額 (円)
環境保全型農業直接支払交付金事業	環境保全型農業への支援 5事業者	6,052,700

《 事業評価 》

有機農業等により、生物多様性の保全に効果の高い営農活動等への取組の推進を図ることができた。

(6) 地域農業基盤創生事業

《 事業概要 》

農業者自らの創意工夫による、新たな農業ビジネスへの取組や耕作放棄地の復元に対する支援を行った。

区分	内容	金額 (円)
新規農業ビジネスチャレンジ支援事業	補助事業者 4事業者 ・茶の販路拡大に向けた商品開発 ・米を活用した加工品の開発 ・スギタケ（オオイチョウダケ）の生産と加工品の開発 ・いちご、ブルーベリーを活用した新商品の開発	1,441,495
要活用農地復元事業	農地復元面積 0.15ha	79,300

《 事業評価 》

農業者の創意工夫などの意識改革と起業活動等、6次産業化に向けた取組の推進と耕作放棄地の復元を図ることができた。

(7) 一次産業担い手供給プロジェクト

《 事業概要 》

将来の農業の担い手を目指す農業後継者の確保及び育成を図るため、一次産業へ就業する担い手を総合的に支援した。

区分	内容	金額 (円)
農業後継者研修費補助金	農業大学校等における1年間の授業料に相当する額を交付	59,000

《 事業評価 》

就農希望者を対象とした実践研修等の経費に対する補助金交付を通じて、新規就農者の確保・育成に寄与することができた。

(8) 人・農地プラン推進事業

《 事業概要 》

農業が厳しい状況に直面している中で、集落及び地域が抱える人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」となる「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」の見直しを行い、地域の中心となる経営体等の確保・育成を図った。

区分	内容	金額（円）
農業次世代人材投資資金（経営開始型）	15件 16人	21,375,000

《 事業評価 》

農業経営を開始した青年就農者に資金を交付することにより、経営基盤の確立を支援し、今後の集落及び地域の中心となる経営体等の育成に寄与することができた。

(9) 農地中間管理事業

《 事業概要 》

地域の中心となる経営体等への農用地の集積・集約化を促進し、経営規模の拡大による農業所得の向上等、農業競争力の強化を行うとともに、遊休農地の発生の防止を図った。

区分	内容	金額（円）
機構集積協力金（地域集積協力金）	2地域 692 a	798,800
機構集積協力金（経営転換協力金）	17人 597 a	895,500
合計		1,694,300

《 事業評価 》

地域の合意形成及び農地中間管理機構を介した農地の貸借を推進することにより、地域の中心となる経営体等への農用地の集積・集約化を促進し、地域農業の推進と経営体等の農業経営に対して一定の効率化及び安定化を図ることができた。

担当 農林水産政策課

3 経営所得安定対策推進事業

予算現額 105,732,000 円
 事業決算額 105,731,414 円
 予算執行率 100.0 %

《 事業概要 》

麦、大豆、地域振興作物等の生産拡大及び水田の有効活用により食料自給率の向上を図るため、地域農業再生協議会に対して、交付金を交付した。

区分	内容	金額（円）
水田活用自給力向上事業	麦、大豆、地域振興作物等の作付面積、数量に応じた交付金（地域農業再生協議会 2団体）	90,000,000

《 事業評価 》

水田において、麦、大豆、地域振興作物等の作付けを支援することで、水田の有効活用や自給力の向上を図ることができた。

担当 農林水産政策課

4 農村交流等支援事業

予算現額 258,000 円
 事業決算額 246,000 円
 予算執行率 95.3 %

《 事業概要 》

津市産農林水産物の消費拡大や地産地消の促進を図るため、生産者と消費者との交流による農業体験や商品開発を支援した。

区分	内容	金額 (円)
お米づくり体験	生産者と消費者との交流会を兼ねた田植えから稲刈りまでのお米づくり体験	200,000
津市産農産物の活用による商品開発	津市産農産物を活用した商品開発、女性農業者と消費者の交流を通じた津市産農産物及び津市の農業のPR	32,000
津市産物のPRイベント出展	若手農業者と消費者の交流を通じた津市産農産物及び津市の農業のPR	14,000

《 事業評価 》

生産者と消費者との交流によるお米づくり体験や津市産農産物の活用による商品開発、津市産農産物をPRするイベントへの出展を支援することにより、食と農、地域食文化と地産地消への理解を深めることができた。

担当 農林水産政策課

5 中山間地域等直接支払事業

予算現額 36,299,000 円
 事業決算額 36,298,857 円
 予算執行率 100.0 %

《 事業概要 》

中山間地域等の農業生産条件が不利な地域において、農業生産活動の継続を支援することにより、農業が果たす役割や農村が有する多面的機能の維持に努めた。

地域	協定集落数	協定面積 (㎡)	金額 (円)
美里	11	854,131	17,936,751
安濃	2	440,293	9,246,153
白山	1	67,904	1,425,984
美杉	12	366,189	7,689,969
合計	26	1,728,517	36,298,857

《 事業評価 》

中山間地域等の農村集落の農業生産活動の維持・継続を促し、耕作放棄地の発生抑制と農村が有する多面的機能の維持を図ることができた。

担当 農林水産政策課

7 獣害対策事業

予算現額 89,964,000 円
 事業決算額 86,568,701 円
 予算執行率 96.2 %

《 事業概要 》

有害鳥獣による農作物等への被害を防止するため、獣害対策の三本柱である、個体数の調整、防護柵の設置、追い払い等地域ぐるみの取組を推進し、獣害対策を総合的に実施した。
 また、獣害対策に関する相談体制を拡充するため、獣害対策相談チームを充実させた。

区分	内容		金額 (円)
有害鳥獣捕獲報償金	捕獲頭数 (平成31年1月～令和元年12月) シカ 2,887頭、サル 239頭、 イノシシ 1,308頭、小動物 69頭		43,449,000
農林産物獣害対策事業	防護柵 の設置	農産物鳥獣害対策事業 22件 延長 12,796m 小規模農地鳥獣害防止事業 100件 延長 13,098m 林産物獣害対策事業 2件 竹林 延長 141m 樹木90本防護	14,533,691
有害鳥獣対策推進事業	地域の獣害対策協議会22組織の地域ぐる みの取組に対する補助		2,596,000

《 事業評価 》

獣害対策の三本柱（個体数の調整、防護柵の推進、地域ぐるみの取組）を中心に事業を推進し、獣害相談チームが地域に寄り添いながら相談業務や対策指導を行うことにより、獣害対策を総合的に支援することができた。

また、サル一斉捕獲事業を地域の協力のもと実施し、サルを捕獲することにより、被害軽減に寄与することができた。

担当 農林水産政策課

款 6 農林水産業費 項 1 農業費 目 5 畜産業費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,676,030 円	円	円	円	円	7,676,030 円

1 畜産業振興事業

予算現額 8,061,850 円
事業決算額 7,676,030 円
予算執行率 95.2 %

《 事業概要 》

特産松阪牛の導入と共進会出品に係る支援や中南勢地区のと畜解体処理施設である松阪食肉公社の経営に対し支援を行った。

また、CSF（豚熱）対策として、市内養豚農家に消石灰（1,051袋）の配付支援を行った。

区分	内容	金額 (円)
松阪食肉公社への支援	松阪食肉公社負担金	6,225,000
特産松阪牛生産支援事業	兵庫県産素牛導入 10件	700,000
	松阪肉牛共進会出品 3件	105,000

《 事業評価 》

松阪食肉公社の経営改善を通じた畜産農家の経営安定と、特産松阪牛の導入と共進会出品支援による肥育農家の生産意欲向上に資することができた。

また、隣接市町において野生イノシシの豚熱が発生したが、畜舎消毒のための消石灰の配付により畜産農家の経営負担の軽減に資することができた。

担当 農林水産政策課

款 6 農林水産業費 項 1 農業費 目 6 農地費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
643,098,668 円	1,235,049 円	127,129,900 円	51,100,000 円	94,732,150 円	368,901,569 円

2 市単土地改良事業

予算現額 150,115,000 円
 事業決算額 140,452,412 円
 予算執行率 93.6 %

農業用施設に係る地元自治会・土地改良区等からの要望に対し、農道舗装及び水路改修工事等の実施、小規模な地元発注工事に対して補助金を交付した。

また、生コンクリート・砕石等の原材料を地元へ支給することにより農業用施設の整備・補修を行った。

(1) 農業用施設改修事業

《 事業概要 》

農道舗装及び用排水路等の農業用施設の改修工事等を行った。

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
野田地内水路改修工事	野田	水路工 延長 163.7m	11,762,300
野田地内水路改修工事 (その2)	野田	水路工 延長 176.4m	8,277,500
片田田中町地内水路改修 工事	片田田中町	水路工 延長 65.9m	4,964,300
一身田平野地内水路改修 工事	一身田平野	水路工 延長 55.4m	3,734,500
殿村地内水路改修工事	殿村	水路工 延長 85.0m	3,711,400
渋見町地内水路改修工事	渋見町	水路工 延長 62.2m	3,463,900
久居一色町地内農道舗装 工事	久居一色町	舗装工 面積 582㎡	3,168,000
河芸町西千里地内水路改 修工事	河芸町西千里	水路工 延長 87.4m	4,594,700
白山町真見地内水路改修 工事	白山町真見	水路工 延長 89.0m	4,948,900

《 事業評価 》

農業用施設の改修工事等を行うことにより、営農経費・維持管理労力の軽減に寄与することができた。

(2) 補修用原材料支給事業

《 事業概要 》

地元自治会・土地改良区等が実施する農業用施設の整備・補修について、生コンクリート・砕石・U字溝等の原材料を支給した。

区分	件数 (件)	内容	金額 (円)
補修用原材料支給	229	生コンクリート等支給	23,662,685

《 事業評価 》

農業用施設の整備・補修に係る原材料を支給することにより、営農経費・維持管理の軽減に寄与することができた。

(3) 市単土地改良補助事業

《 事業概要 》

地元自治会・土地改良区等が発注する小規模な農業用施設改修工事について、工事に係る費用の80%（過疎地域については90%）を補助した。

区分	件数 (件)	金額 (円)
用排水路等整備工事補助金	73	50,044,000
用排水路等整備工事補助金 (過疎地域)	3	1,093,000
農道整備工事補助金	7	4,657,000
農道整備工事補助金 (過疎地域)	2	1,707,000
ため池整備工事補助金	9	3,867,000

《 事業評価 》

地元自治会・土地改良区等が発注する小規模な農業用施設の改修工事について、工事費用の一部を負担したことにより、営農経費・維持管理労力の軽減に寄与することができた。

担当 農業基盤整備課

3 県営等土地改良事業

予算現額 393,575,980 円
 事業決算額 226,891,774 円
 予算執行率 57.6 %

《 事業概要 》

ため池の耐震性を確認するため、ため池の耐震性調査を行うとともに、市民の安心安全を守るために、ため池ハザードマップを作成した。また、老朽化した頭首工を県営土地改良事業により改修を行うため、事業計画書を作成した。さらに、県営土地改良事業に係る市負担金を負担することにより営農者の営農経費・維持管理労力の軽減を図り、担い手への利用集積向上に努めた。

なお、執行率が57.6%となった要因は、国の補正予算による補助金の追加内示があったこと等により、県営等土地改良事業（事業費:64,426,350円）及び耐震対策ため池改修事業（事業費:102,000,000円）を令和2年度へ繰越したことによる。

事業名	実施地区	事業内容	金額 (円)
農村地域防災減災事業	市内 (24箇所のため池)	ため池耐震性調査一式	100,358,500
農業水路等長寿命化・防災減災事業	市内 (24箇所のため池)	ため池ハザードマップ作成一式	11,064,900
農業用河川工作物等応急対策事業	高野地区	事業計画書作成一式	11,550,000
農業用河川工作物等応急対策事業	井生地区	頭首工整備一式	2,400,000
農業用河川工作物等応急対策事業 (繰越事業)	井生地区	頭首工整備一式	6,960,000
耐震対策ため池改修事業	片野池地区	測量試験一式	10,907,400
耐震対策ため池改修事業	井上池地区	測量試験一式	1,615,500

事業名	実施地区	事業内容	金額（円）
老朽対策ため池改修事業	三ツ谷池地区	測量試験一式	10,410,000
老朽対策ため池改修事業 （繰越事業）	三ツ谷池地区	測量試験一式	3,788,280
基幹農業水利施設ストックマネジメント事業	波瀬川地区	測量・設計等一式	32,640,750
高度水利機能確保基盤整備事業	野田地区、南黒田地区	農業用排水施設改修一式	5,875,000
高度水利機能確保基盤整備事業 （繰越事業）	片田田中地区、野田地区、南黒田地区	農業用排水施設改修一式	28,687,700

《 事業評価 》

ため池耐震性調査を行い、今後の事業化に向けての取組を進めるとともに、ため池ハザードマップを作成・配付することで、地域住民の危機意識の向上を促すことができた。また、事業計画書を作成し、次年度以降における県営土地改良事業の認可を受けることができた。さらに、県営事業に係る市負担金を負担したことにより、営農経費・維持管理労力の軽減に寄与することができた。

担当 農業基盤整備課

4 農業用施設維持管理事業

予算現額 62,315,000 円
事業決算額 61,204,435 円
予算執行率 98.2 %

排水機場等主要施設の定期的な整備・補修を実施し、これら施設の適正な操作と維持管理を行い、流域の浸水被害防止を図るとともに、農業用水の安定供給に努めた。

(1) 農業用施設維持管理事業

《 事業概要 》

農業用施設の維持管理のため、設備修繕及び補修工事を行った。

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
土地改良施設維持管理適正化事業 風早池堤体補修工事	戸木町	地盤改良工一式	36,267,000

《 事業評価 》

設備修繕及び補修工事を行ったことにより、流域の浸水被害防止と農業用水の安定供給に寄与することができた。

(2) 排水機場等保守管理事業

《 事業概要 》

各排水機場の保守点検を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
ポンプ設備等点検整備業務委託（巡視・緊急出動）	河芸町上野、河芸町東千里	巡視点検一式	1,214,840
ポンプ設備等点検整備業務委託（巡視・緊急出動）	一身田平野、栗真中山町、納所町、一身田豊野	巡視点検一式	1,746,760

《 事業評価 》

排水機場の適正な保守点検を行ったことにより、流域の浸水被害の防止に寄与することができた。

担当 農業基盤整備課

5 農地一般事務事業

予算現額 122,505,000 円
 事業決算額 120,766,124 円
 予算執行率 98.6 %

《 事業概要 》

土地改良施設の維持管理を行うとともに、各種土地改良事業関係の負担金を負担した。

区分	内容	負担先	金額 (円)
中勢用水事業負担金	ダム管理費・県営事業償還負担金	中勢用水土地改良区	94,211,818

《 事業評価 》

土地改良施設を適正に管理したことにより、農業生産基盤の安定化に寄与することができた。また、各種土地改良事業関係の負担金を負担したことにより、農家の負担を軽減するとともに、土地改良事業の円滑な執行に努めることができた。

担当 農業基盤整備課

款 6 農林水産業費 項 2 林業費 目 1 林業総務費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
39,975,604 円	円	円	円	円	39,975,604 円

2 林業総務一般事務事業

予算現額 2,618,000 円
 事業決算額 2,259,363 円
 予算執行率 86.3 %

《 事業概要 》

森林法に基づく事務等に伴い必要となった消耗品等の購入や、公用車の維持管理、複写機のパフォーマンスチャージ料の負担を行った。また、森林整備協議会を3回開催し、県森林協会等の林業関係団体への負担金を執行した。

《 事業評価 》

森林法に基づく伐採届、森林所有者届等の事務処理を適切に行うことができた。また、県及び林業関係団体との連絡調整を図ることができた。

担当 林業振興室

款 6 農林水産業費 項 2 林業費 目 2 林業振興費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
271,255,574 円	1,409,000 円	113,677,200 円	8,300,000 円	39,371,707 円	108,497,667 円

1 林業振興一般事務事業	予算現額	7,406,086 円
	事業決算額	6,740,637 円
	予算執行率	91.0 %

各地域にある林業関連施設の修繕など維持管理を行った。
また、林業関係団体の活動及び地域ブランド材の普及活動に係る支援を行った。

(1) 林業関連施設維持管理事業

《 事業概要 》

林業関連施設の利用に支障がないよう修繕などの維持管理を行った。

施設名	修繕内容	金額 (円)
わかすぎの里	バンガロー手摺、昼表替、電気設備修繕等	1,111,000
美杉林業者宿泊施設	玄関ポーチ、ベランダ修繕	890,824

《 事業評価 》

施設の老朽化が進む中、維持管理に必要な修繕を行い、利用者へのサービス向上に努めることができた。

(2) 林業振興支援事業

《 事業概要 》

地域産の木材製品の付加価値を向上させるため、美杉木材協同組合が実施した木材普及活動及び地域ブランド材普及活動に支援を行った。

区分	事業内容	金額 (円)
木材振興対策事業	美杉木材協同組合が行う、各種イベント等における木材のPRや木工教室を実施する活動、美杉木材まつりや美杉ブランド材展示会等における、美杉ブランド材普及活動に対する支援	400,000

《 事業評価 》

市民が木に触れ合う機会を提供することで木材の良さを伝えることができ、美杉ブランド材の普及に寄与することができた。

(3) 木材利用促進事業

《 事業概要 》

個人住宅の建設に伴い木材の利用を促進するため、主要部材の材料費用を支援し、本市における地域産材等の需要拡大及び利用の促進を図った。

事業名	新築戸数 (戸)	木材使用量 (m ³)	金額 (円)
木材利用促進事業	3	50.81	900,000

《 事業評価 》

地域産材等を利用した住宅建築を支援することで、木材の地産地消につながり、地域産材の需要拡大に資することができた。

担当 林業振興室

2 森づくり整備事業

予算現額 67,287,000 円
 事業決算額 66,844,171 円
 予算執行率 99.3 %

森林の持つ公益的機能が高度に発揮されるよう、人工林を適正な状態に導く間伐を行い、海岸防災林の整備や、広葉樹の森林づくり支援を行った。

(1) 強い森林づくり促進事業

《 事業概要 》

人工林を適切に維持・管理することで、林業の活性化を図るとともに、森林の有する多面的機能の増進を図るため、認定林業事業体に対し、間伐等の施業に関する補助を行った。

交付対象者	事業別	金額 (円)
中勢森林組合・木原造林㈱	間伐 270.87ha	38,557,703
中勢森林組合	作業道 8,120m	1,947,853
中勢森林組合	植栽 10.32ha	1,720,841
中勢森林組合	防護柵 8,438m	3,266,447

《 事業評価 》

施業地の団地化、施業集約化及び未植栽地の解消に積極的に取り組んだ結果、適切な森林整備を実施し、森林の有する多面的機能の発揮に貢献することができた。

(2) 森林環境創造事業

《 事業概要 》

森林所有者から管理委託された森林を市民全体がその恩恵を享受する公共財産と位置づけ、多様な公益的機能の持続的かつ高度な発揮を目的とした環境林整備を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
森林環境創造事業業務委託	榑原町、白山町小杉、美杉町川上	間伐 14.61ha	3,132,437

《 事業評価 》

各地で間伐を実施して森林環境を整備し、公益的機能の高度な発揮に貢献することができた。

(3) 森林整備地域活動支援交付金事業

《 事業概要 》

森林所有者から森林経営の委任を受けた者が、面的なまとまりを持って作業路網や森林整備について計画する森林経営計画の作成支援を行った。

事業内容	団地数	面積 (ha)	金額 (円)
森林経営計画作成促進、森林境界の明確化	3	400	16,642,000

《 事業評価 》

森林経営計画作成及び森林境界の明確化を促進したことで、間伐等の施業集約化が図られ、森林整備の推進に寄与することができた。

(4) 海岸防災林維持管理業務

《 事業概要 》

マツノザイセンチュウによるクロマツの枯死が拡大する中、海岸防災林としての機能回復を図るため維持管理を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
森林病虫害等防除事業 (地上散布) 業務委託	河芸町上野、河芸町影重	薬剤地上散布 1.8ha	205,200
河芸町海岸防災林管理業務委託	河芸町上野、河芸町影重	枯松の伐倒 1.69m ³	795,300

《 事業評価 》

マツノザイセンチュウとその拡散原因であるマツノマダラカミキリの生態に応じて、最も効果的な時期に枯松の伐採、搬出や薬剤散布を行い、海岸防災林として健全な松林の保全を図ることができた。

(5) 広葉樹植栽奨励補助事業

《 事業概要 》

森林環境の多様性、水源のかん養、防災など森林の持つ多面的な機能の発揮に資するため、伐採跡地への広葉樹植栽を支援した。

区分	実施地区	面積 (a)	金額 (円)
植栽事業	一志町波瀬	22.0	75,020

《 事業評価 》

広葉樹の新規植栽を支援することにより、森林の持つ多面的な機能の発揮に貢献することができた。

(6) 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業

《 事業概要 》

地元の里山を地元の住民が保全する活動を支援することにより、森林の持つ多面的機能の発揮及び森林管理の意識づけを図った。

交付対象者	実施地区	金額 (円)
NPO法人 みえ里山自然ふれあいの会	久居明神町	52,000
美杉ノ森ファンクラブ	美杉町丹生俣	34,000

《 事業評価 》

里山保全活動を支援することにより、森林の持つ多面的機能の発揮及び地元団体が継続的に活動を進めていくための基盤づくりに貢献することができた。

担当 林業振興室

3 市有林維持管理事業

予算現額 4,114,000 円
事業決算額 4,021,600 円
予算執行率 97.8 %

市有林の財産としての価値向上と公益的機能の高度発揮のため、境界確認と間伐を行った。

(1) 市有林保育事業

《 事業概要 》

市有林の財産価値の向上に資するため、作業道を開設して間伐を実施し、間伐材の搬出を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
市有林保育業務委託	美杉町石名原	搬出間伐 1.58ha 保育間伐 7.94ha	3,619,000

《 事業評価 》

間伐によって森林内へ太陽光を導くことができ、残存木にとって良好な生育環境を整えることができた。また、間伐材を森林内から木材市場やチップ工場へ搬出することで有効利用を図ることができた。

(2) 市有林管理事業

《 事業概要 》

市有林の境界や風倒被害等の状況を調査して確認し、状況写真・巡視記録等を記載した森林管理台帳の作成を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
市有林管理業務委託	美杉町竹原ほか2団地	巡視・境界標識塗布 55.85ha	402,600

《 事業評価 》

市有林の現況を把握し、境界を明示することで、今後の確実な維持管理のための基礎を作ることができた。

担当 林業振興室

4 林道整備事業

予算現額 60,655,000 円
事業決算額 27,566,400 円
予算執行率 45.4%

森林の適正な管理や伐採木の搬出等、林業経営の低コスト化を図るため、林道開設事業を実施した。

なお、執行率が45.4%となった要因は、国の補正予算による補助金の追加内示があり、林道中畑線開設事業（事業費：29,400,000円）を令和2年度へ繰越したことによる。

(1) 林道中畑線開設事業

《 事業概要 》

県営林道経ヶ峰線と接続することで、森林整備においてより効率的に利用できる路網を実現するべく林道中畑線の開設を行っている。

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
林道中畑線開設工事	美里町平木	施工延長18m (3号ボックスカルバート1基)、完成延長114m	25,711,400

《 事業評価 》

林道開設を進めることで効率的な森林施業のための基盤整備に寄与することができた。

(2) 県営林道経ヶ峰線開設事業

《 事業概要 》

美里町北長野地内の国道163号から経ヶ峰を經由し、芸濃町河内地内の県道津芸濃大山田線に至る集落間を結ぶ広域基幹林道経ヶ峰線開設工事について、県が施行する開設事業に要する経費の一部を負担した。

事業名	施工場所	内容	金額 (円)
県営林道事業費負担金	芸濃町河内	林道経ヶ峰線開設工事市負担金 (芸濃工区)	1,855,000

《 事業評価 》

林道開設を進めることで効率的な森林施業のための基盤整備に寄与することができた。

担当 林業振興室

5 林道等維持管理事業

予算現額 38,316,914 円
 事業決算額 35,226,766 円
 予算執行率 91.9 %

林道における通行環境等の維持・保全による安全性の確保を目的とし、路面整正や排水施設の整備、補修用原材料の支給、草刈業務等を行った。また、被災を未然に防ぎ、適切な維持管理を行うため、林道現況(危険・被害箇所等)調査を行った。

(1) 林道等維持管理事業
 《 事業概要 》

路面・排水施設の補修、土砂・倒木の撤去等を適宜行い、草刈清掃等を実施することにより視界の確保など利用者が安全に利用できるよう維持管理を行った。

区分	件数 (件)	内容	金額 (円)
施設修繕料	23	路側・法面等修繕	8,684,620
施設維持管理委託料	12	除草作業等	2,183,400
機械借上料	8	法面崩落土撤去等	3,306,150
補修用原材料支給	49	生コンクリート等支給	6,677,796
林道等整備事業補助金	4	路面、路肩等の改良等	3,300,000

《 事業評価 》

林道等について適切な維持管理に努めることで、木材の搬出・運搬の作業効率向上及び良好な森林管理に資することができた。

(2) 林道現況調査業務
 《 事業概要 》

林道の現況を把握し、効率的な維持管理を行うため、全林道の現況調査を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
林道現況調査等業務委託	市内全域	林道の現況調査(パトロール)・林道被害調査	4,048,000

《 事業評価 》

林道の現況調査を行ったことにより、路面洗掘や軽微な法面崩壊等を把握することができ、効率的に修繕を行うための基礎資料を作成することができた。

(3) 林道施設点検診断業務
 《 事業概要 》

本市が管理する林道の橋梁及びトンネルを対象として、近接目視、打音検査、触診等の詳細な点検等を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
林道施設点検診断業務委託	市内全域	橋梁点検診断 132基 トンネル点検診断 1基	7,026,800

《 事業評価 》

点検診断を行ったことにより、現状を把握し、林道施設の維持管理に必要となる基礎資料を得ることができた。

担当 林業振興室

9 みえ森と緑の県民税市町交付金事業

予算現額 81,686,000 円
 事業決算額 79,983,000 円
 予算執行率 97.9 %

みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、災害に強い森林づくり、県民全体で支える社会づくりの2つの基本方針と、土砂や流木による被害を出さない森林づくり、暮らしに身近な森林づくり、森を育む人づくり、森と人をつなぐ学びの場づくり、地域の身近な水や緑の環境づくりの5つの対策に沿って、地域の実情に応じた創意工夫の森林づくり施策を行った。

(1) 夏休み森と緑の親子塾

《 事業概要 》

木のぬくもりや、木の良さを知ってもらうため、市内の小学生とその保護者を対象に森林や木材について学びふれあう場を提供した。

事業名	参加者	金額 (円)
夏休み森と緑の親子塾	16組 44人	194,400

《 事業評価 》

木工品製作と間伐体験を通じ、手で触れ香りを感じて木の良さを実感してもらうことで、その木が育つ森林やそこで営まれる林業について理解する機会を提供することができた。

(2) まるごと林業体験

《 事業概要 》

美里水源の森において、木の伐採から利用までを体験する「まるごと林業体験」を開催し、木を育てて利用し、また育てるという林業の循環と森林の公益的機能について学ぶ機会を提供した。

事業名	参加者 (人)	金額 (円)
まるごと林業体験	20	299,200

《 事業評価 》

様々な林業体験を通じて、循環可能な資源である木材を利用する意義を知り、森林の持つ公益的機能への理解が深まり、森を育む人づくりに寄与することができた。

(3) 林地残材搬出促進事業

《 事業概要 》

間伐によって発生した林地残材が、豪雨時などに河川へ流れ出て被害を増大させる事態を防ぐため、林地残材の搬出・運搬に対して経費の一部を支援した。

事業名	運搬した林地残材量	金額 (円)
林地残材搬出促進事業	5,127.87m ³	35,849,400

《 事業評価 》

林地残材を減らすことで、災害に強い森林づくりが促進できた。また、副次的効果として、林地残材を木質バイオマス発電の原料として有効に活用を図ることができた。

(4) 流域防災機能強化対策事業

《 事業概要 》

「災害に強い森林づくり」として、災害緩衝林事業箇所の周辺で土壌侵食等のおそれがある溪流沿いの森林において間伐を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
流域防災機能強化対策 (河内) 業務委託	芸濃町河内	保育間伐 39.31ha	29,466,800

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
流域防災機能強化対策 (桂畑) 業務委託	美里町桂畑	保育間伐 9.40ha	7,735,200

《 事業評価 》

間伐を行ったことにより、災害緩衝林整備事業を実施した流域における防災機能を強化し、災害に強い森林づくりを促進することができた。

(5) 森林再生力強化対策事業補助金

《 事業概要 》

「災害に強い森林づくり」として、森林所有者等が行う新植地への獣害防護柵の設置を支援した。

交付対象者	事業別	金額 (円)
中勢森林組合・住友林業 (株)	獣害防止施設 9,438m	6,438,000

《 事業評価 》

新植地への獣害防止施設の整備について支援を行い、森林の再生を妨げている野生獣による食害の抑制を図ることができた。

担当 林業振興室

10 森林環境譲与税事業

予算現額	50,874,000 円
事業決算額	50,873,000 円
予算執行率	100.0 %

森林環境譲与税を財源として、新たな森林経営管理制度に取り組み、森林所有者の意向により市が経営管理権を取得し、森林を整備することで市面積の約6割を占める森林を適正に管理し、森林の持つ多面的機能を活かせる取組を行った。

(1) 森林経営管理事業 (意向調査)

《 事業概要 》

森林経営管理権設定を行うために芸濃地域に森林を所有する方に対して、森林の管理を自ら行うか、市へ委託するかについて意向調査を行った。

事業名	事業量	金額 (円)
森林経営管理事業 (意向調査) 業務委託	区域面積 3,300ha 筆数 11,600筆 所有者数 2,500人	25,764,756

《 事業評価 》

森林所有者の意向を確認したことにより、市が管理していく森林の情報を把握することができた。

(2) 森林経営管理事業 (現況調査・境界明確化)

《 事業概要 》

意向調査の結果において市への経営委託を希望する森林のうち、希望者が集中している地域を先行して森林現況調査・境界明確化を実施した。

事業名	事業量	金額 (円)
森林経営管理事業 (現況調査・境界明確化) 業務委託	森林現況調査 81.4ha 境界明確化 81.4ha 林地台帳修正 340ha	9,129,155

《 事業評価 》

現況調査や境界明確化により、市が経営管理権を設定していく上で必要な情報の整備をすることができた。

(3) 森林経営管理事業（森林整備）

《 事業概要 》

市全域の森林を健全な状態にするために、森林経営管理制度を進めていく民有林のみならず、整備が遅れている市有林においても適正な管理をする必要があることから、間伐を実施した。

事業名	事業量	金額（円）
森林経営管理事業（森林整備）業務委託	保育間伐 21.96ha	11,513,700

《 事業評価 》

間伐を行ったことにより、森林の持つ公益的機能の発揮に貢献することができた。また、適正な管理を行う必要性を示すような模範となる森林づくりを進めることができた。

担当 林業振興室

款 6 農林水産業費 項 3 水産業費 目 2 水産業振興費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
8,222,055 円	円	円	円	60,000 円	8,162,055 円

1 水産振興支援事業

予算現額 8,230,000 円
 事業決算額 8,222,055 円
 予算執行率 99.9 %

《 事業概要 》

伊勢湾内の漁場の環境悪化に伴い、資源の減少が漁家の収入に大きな影響を与えていることから、水産資源の保護増殖を図る漁業組合等の取組に支援を行い、「とる漁業」から「つくり、育て、とる漁業」への転換を推進するとともに、魚食の推進を図るため、水産物消費拡大のPRを行った。また、水産資源の保護増殖を図るため、種苗放流や魚食の推進に係る漁業組合等の取組や水産多面的機能発揮対策に対し支援を行った。

区分	交付先	金額（円）
ガザミ種苗放流事業委託	三重県水産振興事業団	1,900,000
種苗・放流事業負担金	白塚漁業協同組合、香良洲漁業協同組合	1,998,000
種苗養殖・放流事業補助金	白塚漁業協同組合	1,500,000
白塚おさかなまつり事業補助金	白塚おさかなまつり実行委員会	500,000
水産多面的機能発揮対策交付金	マリン塾かわげ	60,000

《 事業評価 》

稚貝放流区域において、組合で共同作業を実施し、漁場の管理を適正に行うことで、「つくり、育て、とる漁業」の推進や、マリン塾かわげなど活動団体が干潟の保全活動を実施し、水産の多面的機能の発揮を図ることができた。

また、三重県水産物消費拡大協議会が作成したお魚カレンダーを各種行事で配布したり、魚食の推進を図るため、白塚おさかなまつりの支援など、水産物の消費拡大のPRを積極的に図ることができた。

担当 水産振興室

款 6 農林水産業費 項 3 水産業費 目 3 漁港整備費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
202,587,060 円	円	90,650,000 円	89,700,000 円	2,797,500 円	19,439,560 円

2 漁港等維持管理事業

予算現額 6,650,000 円
 事業決算額 5,064,983 円
 予算執行率 76.2 %

《 事業概要 》

漁港施設の適切な維持管理による、水産物の安定的な供給に努めるとともに、漁港施設に係る除草作業等適切な維持管理を行った。

なお、執行率が76.2%となった要因は、突発的な修繕工事に係る予算の執行がなかったことによる。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
香良洲漁港及び白塚漁港 (白塚地区・河芸地区) 背後地除草業務委託	香良洲町、白塚町、河芸町一色、河芸町中別保	除草 13,800㎡	1,729,200
白塚町地内排水管等清掃業務委託	白塚町	排水管清掃 240m	847,000

《 事業評価 》

漁港施設の維持管理のため、施設内の除草、清掃等を適時行い、適正に管理を行うことができた。

担当 水産振興室

3 漁港等整備事業

予算現額 202,110,560 円
 事業決算額 189,462,360 円
 予算執行率 93.7 %

《 事業概要 》

水産物の安定的な供給と災害に強く安全な漁港の整備を推進するため、漁港施設の機能強化等を行った。また、施設の長寿命化計画に基づき海岸堤防の老朽化対策にも着手した。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
香良洲漁港底質調査業務委託 (繰越事業)	香良洲町	底質調査	385,560
香良洲漁港海岸保全施設測量業務委託	香良洲町	測量	1,598,300
香良洲漁港海岸保全施設土質調査業務委託	香良洲町	土質調査	6,189,700
香良洲漁港海岸保全施設実施設計業務委託	香良洲町	実施設計	15,491,300

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
香良洲漁港泊地浚渫工事 (繰越事業)	香良洲町	しゅんせつ工事	84,696,700
香良洲漁港物揚場機能保全対策工事 (繰越事業)	香良洲町	機能保全工事	81,100,800

《 事業評価 》

漁港物揚場の鋼管矢板の設置工事やしゅんせつを実施したことにより、災害に強く安全な漁港づくりを推進するとともに、水産物の安定的な供給に寄与することができた。

担当 水産振興室

款 6 農林水産業費 項 4 農業集落排水費 目 1 農業集落排水事業費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
422,320,000 円	円	円	円	円	422,320,000 円

1 農業集落排水事業

予算現額 424,747,000 円
 事業決算額 422,320,000 円
 予算執行率 99.4 %

《 事業概要 》

生活環境の改善、農業用排水及び公共用水域の水質保全に寄与することを目的に、26地区の処理施設の適切な維持管理に要する経費や、事業実施に係る起債の償還を行うため、農業集落排水事業特別会計へ繰出を行った。

農業集落排水事業 420,431,000 円 (うち繰出基準額 312,148,000円)
 簡易排水事業 1,889,000 円 (うち繰出基準額 608,000円)

《 事業評価 》

農業集落排水事業特別会計へ繰出を行うことにより、経営の健全化を図ることができた。

担当 経営企画課

款 7 商工費 項 1 商工費 目 1 商工総務費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
410,614,824 円	円	円	円	57,400 円	410,557,424 円

2 商工一般事務事業

予算現額 51,322,000 円
 事業決算額 51,174,916 円
 予算執行率 99.7 %

《 事業概要 》

商工事業等に関わる事務経費を執行した。また、津商工会議所、津市商工会、津北商工会の事業に対する補助金の交付を行った。

《 事業評価 》

適正な執行管理に努めた結果、円滑な事務運営に寄与することができた。また、津商工会議所、津市商工会、津北商工会に対し事業補助金を交付したことにより、円滑に事業を遂行することができた。

担当 商業振興労政課

款 7 商工費 項 1 商工費 目 2 商工業振興費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
636,011,136 円	204,467,200 円	785,500 円	円	5,395,518 円	425,362,918 円

8 商業振興事業

予算現額 323,383,000 円
 事業決算額 262,317,362 円
 予算執行率 81.1 %

商業振興を図るため、商業及び物産の振興並びに中心市街地の活性化に係る事業として、各商業団体等が実施するイベント等の集客事業、物産振興事業、商店街の連担性の向上を目的とした空き店舗活用事業などに対して支援を行うとともに、大学、まちづくり会社、NPO等と連携し、若年層を中心とした来街促進事業や、商店街で新たに起業を目指す方の養成塾等、中心市街地の商業の活性化に資する各事業を実施した。また、UIJターン促進事業を実施し、本市への定住促進と市内企業の担い手となる人材の確保に取り組んだ。

(1) 商店街のにぎわい創出と魅力発信

《 事業概要 》

市民・学生・商店街関係者など様々な人の参画を促し、地域と連携して商店街等の賑わいを創出する商店街のにぎわい創出活動支援事業、商店街で新たに起業を目指す人を支援する商店街等活性化支援塾事業、若年層を中心とした来街を促進する学生による情報発信事業、商店街をはじめとした地域の魅力を発信する商店街魅力発信事業や津のまん中ウォーク事業などの実施、まん中広場及びセンターパレスホールの管理・運営など、中心市街地の活性化に係る事業を行った。

○商店街のにぎわい創出事業（商店街のにぎわい創出活動支援事業）

委託先 特定非営利活動法人 世界SHIEN子ども学校のびすく
 委託金額 1,881,000円
 参加者 1,223人

商店街にぎわい創出活動支援事業として、様々な人と交流する「場」（＝サロン）の手法を活用し、中心市街地の活性化を目的に、市民、学生、商店街など様々な人たちが主体的に企画し運営を行い、各チームがこれまで取り組んできた活動を更に掘り下げるほか、商店街等でイベントを複数開催し、中心市街地の活性化及び賑わい創出をする取組、中心市街地の活性化に向けた団体等に対する支援等を実施した。

○商店街にぎわい創出事業（商店街活性化支援塾事業）

委託先 特定非営利活動法人津市NPOサポートセンター
委託金額 1,899,999円
参加人数 82人

起業・創業者、商店街店主向けの事例勉強会（商店街カフェ・全5回）を開催し、市内商店街の現状や課題を把握するため、空き地・空き店舗や実店舗の店主等にヒアリングとアンケート調査を行うとともに、商店街関係者や商店街において新たに起業を目指す方をターゲットとした講義等を実施することで、商店街における新たな価値の創造及びそれを担う人材を育成し、商店街の活性化及び商業の振興を図った。

○商店街にぎわい創出事業（まん中広場等交流イベント業務）

委託先 特定非営利活動法人津市NPOサポートセンター
委託金額 989,996円

まん中広場のPRや利用促進及び市民等の交流を図るため、当該施設を活用した交流イベント事業（開催5回 参加人数748人）を実施した。

また、まん中広場を拠点として、近隣地域の魅力的なスポットや店舗を掲載した周遊MAPを2,000部を作製し配布した。

○商店街にぎわい創出事業（津のまん中ウォーク事業）

委託先 (株)まちづくり津夢時風
委託金額 399,960円

街なかに賑わいを創出するとともに、市民がまちとその歴史に興味や愛着を持つきっかけをつくることを目的に、鉄道事業者との連携のもと中心市街地にある名所・旧跡等を巡るウォークイベントを開催した。

開催日	コース名	参加人数（人）
6月30日	七夕飾りと江姫・高虎さんゆかりの地ウォーク	464
9月7日	伊勢街道、旅人気分で津のまちから垂水へ	563
2月2日	藤堂高虎ゆかりの地と日本三観音「津観音」を訪ねて	980

○商店街魅力発信事業（学生による情報発信事業）

委託先 (株)まちづくり津夢時風
委託金額 899,250円

三重大学の学生等と連携し、WEBマガジン「Loupe WEB」を作成し、WEB記事を全8回掲載し、学生目線で中心市街地等にある店舗等の情報を広く情報発信し、総アクセス数7,497回を獲得した。

また、「Loupe WEB」への誘導を図るため、タブロイド紙（B3版）を3,000部発行し配布した。

○商店街魅力発信事業（商店街魅力発信・学生連携活性化事業）

委託先 (株)まちづくり津夢時風
委託金額 899,965円

三重短期大学と三重大学の連携により、1日限定コラボカフェ「Cafe HONOB UONO（カフェほのぼ～の）」を、12月22日（日）にセンターパレスホールで開催した。

また、様々な年齢層の方が商店街へ足を運ぶきっかけづくりとして、商店街等と連携し、商店街まちなか歴史マップ（案内看板）の設置や、特殊プリントを施したまちなか不思議ポスターの展示、まちなかスタンプラリーを実施した。

○施設利用状況

施設名	利用者数
センターパレスホール	19,200人（稼働日数130日）
まん中広場	3,804人（利用件数184件）

《 事業評価 》

商店街にぎわい創出事業等を通じて、市民・学生・商店街関係者と連携したイベント開催などを行い、商店街の賑わい創出を図るとともに、新たに起業を目指す方など商店街における次の担い手を養成する塾の開催や、WEB版の学生情報誌の発行、津のまん中ウォーク事業の実施などを行い、中心市街地の商業の活性化・賑わいの創出につなげることができた。

(2) 商業の振興に係る補助

《 事業概要 》

各商業団体等が実施するイベント等の集客事業、物産振興事業、商店街の連担性の向上を目的とした空き店舗活用事業などに対して支援を行うとともに、津市の商業及び物産振興に取り組む団体を支援した。

○商業振興事業補助金

事業内容	件数（件）	金額（円）
商業活性化事業	25	6,626,304
商店街等活性化推進事業	14	6,468,954

○地場産業振興事業補助金

交付先 津市物産振興会
交付金額 1,865,000円

事業内訳	開催日	実施場所	参加人数（人）
津市物産まつり	5月18日	お城西公園	21,000
スイーツ スタンプラリー	11月1日～1月19日	津市物産振興会 スイーツ部会員店舗	86

○スイーツフェスタ事業補助金

交付先 津市物産振興会
交付金額 552,486円

2月22日・23日に センターパレスホールで「第10回スイーツフェスタ」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

○高虎楽座運営協議会補助金

交付先 高虎楽座運営協議会
交付金額 2,800,000円

事業内訳	開催日	開催場所	参加人数（人）
第55回高虎楽座	4月27日	フェニックス通り・まん中広場	28,000
第56回高虎楽座	11月2日	フェニックス通り・まん中広場	36,000

《 事業評価 》

各種イベント等の集客事業や空き店舗活用事業に対する補助金の交付のほか、高虎楽座や物産まつりの開催支援、また本市の物産品・特産品のPR等を積極的に行うことで、商店街への来街促進並びに商業の振興を図ることができた。

(3) U I J ターンの促進

《 事業概要 》

本市へのU I J ターン就職に対し奨励金を交付し、本市への定住促進と市内企業の人材確保に寄与することにより、商工業の振興及び経済の活性化を図るため、U I J ターン促進奨励金事業を行った。

U I J ターン促進事業

奨励金名	件数 (件)	金額 (円)
ふるさと就職活動応援奨励金	6	78,000
ふるさと就職新生活応援奨励金	27	1,350,000

《 事業評価 》

本市企業へ就職活動を行った本市出身者や、本市企業に就職し市内に転入した市外在住者に対し奨励金を交付することで、定住促進に努めることができた。

(4) プレミアム付商品券発行事業

《 事業概要 》

消費税・地方消費税の10%への引上げが低所得者・子育て世帯(0~2歳児)の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として、国により実施された財政支援を活用し、対象となる住民税非課税者と子育て世帯24,846人に対し、プレミアム付商品券483,790,000円を販売した。

《 事業評価 》

広報紙や当該制度の特設ホームページの開設などにより幅広く周知を行うなど状況に応じた取組を行ってきた結果、対象となる住民税非課税者と子育て世帯24,846人に対し、プレミアム付商品券483,790,000円を販売した。商品券購入率は47.8%であり、商品券の取扱いをしていただいた市内の多くの事業者に対しても、国から交付金により付与されたプレミアム分の消費効果が得られた。

担当 商業振興労政課

9 ビジネスサポート事業

予算現額 78,151,000 円
事業決算額 71,818,428 円
予算執行率 91.9 %

ビジネスサポートセンターにおいて、スピーディかつ継ぎ目のない支援を提供するワンストップ窓口として、企業誘致の推進、モノづくりを中心とした市内企業の支援、起業・創業の支援を行った。

(1) ビジネスサポートセンター総務事業

《 事業概要 》

ビジネスサポートセンターの運営に係る維持管理を行った。

《 事業評価 》

経費の節減に努め、効果的な運営を行うことができた。

(2) 経営支援事業

モノづくりを中心とした市内中小企業の支援、起業・創業の支援を行った。

ア 市内中小企業支援
《事業概要》

市内中小企業の直面する課題解決のための相談や補助制度のほか、各支援機関との橋渡しや中小企業支援施策の情報提供、中小企業の経営者等を対象とする経営戦略セミナーの開催や社員研修等への補助制度により、人材育成に向けた支援を実施した。

企業相談 ※訪問企業数や相談件数はすべて延べ数。

区分	専門家相談開設日数（日）	相談件数（件）
ものづくり支援	20	20
地域資源活用支援	73	188

人材の確保・育成

事業名	企業数（社）	参加人数（人）
高校生向け企業セミナー	23	151
津地域企業魅力発見ツアー	7	116

事業名	回数（回）	参加人数（人）
経営戦略セミナー	4	46

補助金等

区分	件数（件）	金額（円）	
中小企業振興事業補助金	人材育成支援	25	1,395,000
	新商品等開発支援	4	2,813,000
	生産性向上設備支援	13	11,855,000
	展示会等出展支援	9	4,167,000
	海外企業連携	2	200,000
不妊治療休暇奨励金（休暇取得）	2	400,000	
小規模事業資金融資等に係る信用保証料補給金	44	10,506,980	

《事業評価》

企業相談の充実（専門家の活用や支援機関との連携強化）により、企業相談件数は、対前年約18%の増加が図れた。また、多様な事業者への支援によって、現在の人材不足を補うための生産性の向上や販路開拓のための海外企業連携につなげることが可能となった。

イ 起業・創業支援
《事業概要》

市内で起業・創業を目指す方々からの相談を受けるとともに、公的創業支援ネットワーク「創業サポーターソケット」の強みを生かし、創業準備段階から創業後のフォローアップまで一貫した支援が行える体制を、各支援機関が連携して整えている。

起業・創業を志す方からの計画や資金などの相談に関し、436件の相談に対応した。

市域における创业者の発掘や創業気運醸成等を目的とし「ビジネスカフェ」を6回開催し、118人の参加があった。また、创业者が商品の販売やPR等を行う実践の場の提供を目的とした「ミナツドエ」を開催し、49店舗の出店があり1,000人の来場があった。

また、創業において資金融資を必要とする方に対して保証料補給等の支援を行った。

創業資金融資に係る補給金

区分	件数（件）	金額（円）
保証料補給	18	1,548,880
利子補給	68	1,727,160

《 事業評価 》

起業・創業相談においては、創業体制を強化するため、創業相談専門家の増員等を行うことにより、相談件数が対前年比で約38%増加した。

また、「ビジネスカフェ」や「ミナツドエ」の実施を通して、創業相談のみに留まることなく継続的な支援を行うことで、市内において35件の創業に結びついた。

(3) 企業誘致事業

《 事業概要 》

市長のトップセールスを始め、本社機能が集中する首都・中京・関西の三大都市圏への企業訪問を行うとともに、産業人交流会議の開催など、様々な手法や機会を通じ、積極的に誘致活動を展開した。

《 事業評価 》

積極的な企業誘致活動に取り組んだ結果、中勢北部サイエンスシティに進出企業3社、約20,000㎡の用地の分譲が決定した。

担当 経営支援課
企業誘致課

10 企業立地奨励金事業

予算現額 314,855,000 円
事業決算額 291,597,340 円
予算執行率 92.6 %

《 事業概要 》

本市への企業の進出や設備投資を促進するため、津市企業立地促進条例に基づき、事業者の指定及び奨励金の交付を行った。

種類	件数 (件)	金額 (円)
企業立地奨励金	12	25,405,200
企業立地奨励金(特定産業)	8	154,955,300
用地取得費助成奨励金	9	111,182,840
合計	29	291,543,340

《 事業評価 》

企業の設備投資に係る負担を軽減することにより、企業の進出や立地を促進し、本市における産業の振興及び雇用の促進に寄与することができた。

担当 経営支援課

11 工業用施設等維持管理事業

予算現額 12,106,000 円
事業決算額 10,278,006 円
予算執行率 84.9 %

《 事業概要 》

産業拠点である中勢北部サイエンスシティ、ニューファクトリーひさい及び森工業団地等について、各事業主体との連携のもと、定期的な維持管理を行った。

《 事業評価 》

工業団地等の適正な維持管理を行うことにより、品質保持と企業誘致の促進に寄与することができた。

担当 経営支援課
企業誘致課
久居・地域振興課
安濃・地域振興課

款 7 商工費 項 1 商工費 目 3 観光費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
302,276,501 円		3,449,570 円		84,552,253 円	214,274,678 円

1 観光振興事業

予算現額 110,438,000 円
事業決算額 109,198,429 円
予算執行率 98.9 %

《 事業概要 》

市内外における観光PR活動や情報発信等を通じて、市内観光地や本市を代表するイベント等の魅力を発信するとともに、観光関連団体等への負担金、補助金の交付等により、地域住民・各種団体・行政が一体となって観光客の誘客に向けた取組を進めた。

本市の観光振興に資する活動を行っている団体などへの支援等

団体名	主な事業	金額(円)
津市観光協会	偕楽公園春まつり、観光看板掲出、観光情報発信提供に係るホームページ管理等	14,699,000
	観光パンフレット・ポスター等作成	2,250,000
柗原温泉振興協会	蛍灯、ひな祭り、環境美化、案内看板維持、おもてなし館運営、PR活動	10,000,000
津の海観光客おもてなし協議会	潮干狩り及び海水浴期間における迷子案内、監視、救護、環境整備等	10,000,000
観光ボランティアガイドネットワーク協議会	観光客誘致ウォーク実施、ガイド団体育成支援、案内板設置	3,100,000
三重県観光連盟	観光情報収集発信事業、観光客誘致拡大広報宣伝事業、観光産業及び文化振興事業	1,812,000
特定非営利法人 津う郷育委員会	B-1 関係イベントなど各種イベントへの参加、津ぎょうぎパンフレットの作成	1,300,000

本市を代表するイベントの開催に係る支援

イベント名	開催日	開催場所	来場者数(人)	金額(円)
津花火大会	7月28日	阿漕浦海岸	150,000	9,500,000
ビーチバレー in 御殿場	8月25日	阿漕浦海岸	4,900	4,800,000
津まつり	10月13日	お城西公園、フェニックス通り等	232,000	23,425,241

本市の魅力を発信するためのキャンペーンや情報発信等

委託名	委託先	委託内容	実績	金額 (円)
津駅前観光案内所運営業務委託	津市観光協会	観光情報提供等を行う観光案内所の運営	案内者数 13,906人	10,267,400
観光誘客PRキャンペーン業務委託	津市観光協会	市内外のイベントにおける観光PR活動	PRキャンペーン実施数 51件	8,136,700
新聞雑誌広告等情報発信業務委託	津市観光協会	テレビ、新聞、雑誌等を活用した広告掲載及び情報提供による観光PR活動	広告及び情報提供数 80件	5,967,500

《 事業評価 》

市内外で行われるイベント等において、観光PRキャンペーン等を行い、本市の多彩な観光資源の魅力を情報発信するなど、認知度を高める取組を行うとともに、各種関係団体と連携しながら、広域資源等を活用した新たな魅力づくりを展開することができた。

津花火大会は、夏の風物詩として古くから市民に親しまれているイベントであり、多くの市民・企業等からの協賛に支えられ、約11,500発の打上げを行うなど、市内外からの来客で賑わい、本市の観光誘客に寄与することができた。

ビーチバレー in 御殿場は、関東圏や関西圏からも参加いただくなど、津の夏のイベントとして定着し、御殿場海岸をはじめとする本市の魅力を発信することができた。

津まつりは、台風による影響で10月13日のみの開催となったものの、市民参加の多彩な演目や非営利団体ブース、海外、県内外からのゲストチーム参加など、本市最大のイベントとして多数の観光客を誘致することができた。

担当 観光振興課
久居・地域振興課

2 観光施設維持管理事業

予算現額 203,264,000 円
事業決算額 193,078,072 円
予算執行率 95.0 %

《 事業概要 》

榊原自然の森温泉保養館「湯の瀬」をはじめ、宿泊施設の錫杖湖水荘やレークサイド君ヶ野、キャンプ場や道の駅等、各観光施設の運営及び維持管理を行うとともに、観光施設の更新や環境整備に向けた取り組みを行った。

主な観光施設利用状況

久居	榊原自然の森温泉保養館	149,512
芸濃	錫杖湖水荘	12,585
一志	矢頭中宮キャンプ場	536
白山	青山高原保健休養地	4,719
美杉	スカイランドおおぼら	1,499
	レークサイド君ヶ野	163
	道の駅美杉	26,323
	ヒストリーパーク塚原	3,845
	伊勢奥津駅前観光案内交流施設	21,817

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
御殿場海岸南公衆便所新築工事に係る設計業務委託	藤方	公衆便所整備に係る設計業務	1,441,000
榊原自然の森温泉保養館建設候補地地質調査業務委託	榊原町	建設候補地に係る地質調査業務	1,433,300

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
阿漕浦公衆便所解体工事	阿漕町津興	公衆便所解体	3,058,000
青山高原保健休養地土砂堆積地整地等工事	白山町伊勢見	堆積土砂撤去、整地	10,621,600

《 事業評価 》

施設の老朽化、レジャーの多様化などにより利用者数が減少した施設も見られるなど、依然として各施設を取り巻く状況は厳しいことから、引き続き適切な維持管理に努めるとともに、榑原自然の森温泉保養館の更新や御殿場海岸への公衆便所の整備など受入体制の充実等を図りながら、利用者増加に向けた取組を進める。

担当 観光振興課
久居・地域振興課
芸濃・地域振興課
美里・地域振興課
安濃・地域振興課
一志・地域振興課
白山・地域振興課
美杉・地域振興課

款 8 土木費 項 1 土木管理費 目 1 土木総務費

決算額	財源内訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
283,697,378 円	円	円	円	1,582,800 円	282,114,578 円

2 土木管理事業

予算現額 37,362,000 円
 事業決算額 34,640,485 円
 予算執行率 92.7 %

《 事業概要 》

土木事業等に関わる賠償金のほか、津北工事事務所及び津南工事事務所に係る維持管理経費など、土木事業全般に係る経費を執行した。なお、令和元年度は、請負報酬請求事件に係る仮執行宣言付判決に対する強制執行停止申立のための供託金を支出した。

《 事業評価 》

土木事業等に関わる賠償金、また、両工事事務所に係る経費などについて、適正に執行できた。

担当 都市政策課
 建設政策課

款 8 土木費 項 2 道路橋りょう費 目 1 道路橋りょう総務費

決算額	財源内訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
1,174,797,058 円	14,442,000 円	92,983,000 円	円	12,200,481 円	1,055,171,577 円

2 道路管理事業

予算現額 77,813,000 円
 事業決算額 71,135,430 円
 予算執行率 91.4 %

《 事業概要 》

道路・水路等と民有地との境界確認、市道の認定、道路台帳の整備・管理業務、道路・水路の占用許可業務、占用料の徴収等の業務を行った。

また、幹線道路の整備、促進に係る国・県等との調整業務を行った。

《 事業評価 》

道路管理における事務等を円滑に行うとともに、国・県等と調整を行い、幹線道路の整備、促進を図ることができた。

担当 建設政策課
 事業調整室
 用地・地籍調査推進課

3 地籍調査事業

予算現額 212,455,000 円
 事業決算額 164,044,943 円
 予算執行率 77.2 %

《 事業概要 》

国土調査法に基づく国土調査の一つで、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目、面積等を調査し、境界の位置及び面積の測量を行い、その成果を公図及び登記簿へ反映させる。

地籍調査事業を行うことにより、南海トラフ巨大地震を始めとする災害の際に境界を正確に復元することが可能となり、被災後の迅速な復旧・復興を図ることができるとともに、土地境界をめぐるトラブルの未然防止、土地の有効活用の促進、各種公共事業の効率化・コスト縮減等が図られることから、沿岸部の南海トラフ巨大地震に伴う津波浸水想定区域を地籍調査の重点整備区域と位置付け、津市地籍調査事業計画に基づき事業を実施するとともに、一般整備区域における事業を実施した。

また、久居明神地区、一身田中野地区、殿村地区及び河芸町浜田地区において、市有地（公共施設用地）の適正管理等のための境界確定測量等を実施し、その測量成果を活用して国土調査法第19条第5項指定による地籍整備を実施した。

なお、執行率が77.2%となった主な要因は、国の令和元年度補正予算による交付金の追加交付決定があり、地籍調査事業（事業費：43,904,000円）を令和2年度へ繰越したことによる。

地籍調査事業

区分	実施地区		計画面積	実施内容	事業手法
重点整備区域	津地域	雲出・高茶屋・藤水地区の一部	2.33km ²	調査図素図等作成 境界立会 地籍測量	官民境界等先行調査
		白塚地区・栗真地区の一部	1.23km ²	基準点設置 調査図素図等作成	
	河芸地域	上野地区・豊津地区の一部	1.66km ²	基準点設置 調査図素図等作成	
		上野地区の一部	0.55km ²	境界立会 地籍測量	一筆地調査
	香良洲地域	高砂地区 馬場地区	0.85km ²	閲覧	
一般整備区域	久居地域	立成地区の一部	0.52km ²	調査図素図等作成	官民境界等先行調査
	美里地域	高宮地区の一部	0.25km ²	閲覧	
	一志地域	波瀬地区の一部	0.16km ²	基準点設置 調査図素図等作成	一筆地調査

地籍整備推進調査事業

実施地区	調査面積	実施内容	事業目的
久居明神地区	2.00ha	境界確定測量 (基準点設置・境界立会・境界測量)	未登記道路解消
一身田中野地区	2.50ha		市有地（公共施設用地）の適正管理
殿村地区	1.90ha		
河芸町浜田地区	9.60ha		

《 事業評価 》

重点整備区域における地籍調査事業は、平成27年度に着手した香良洲地域において、全域で閲覧までの工程を終了することができた。香良洲地域で土地所有者の協力により約99%の高い立会率を得られたことを周知することで、他の地区においても地域住民の地籍調査に対する認識が高まり、土地所有者の理解が得られたことから、河芸地域の上野地区の一部及び津地域の雲出地区の一部における境界立会においても円滑な事業推進を図ることができた。なお、令和元年度末の地籍調査の進捗率は4.43%となり、特に重点整備区域では進捗率は46.55%となった。

引き続き、国の補助金等を活用し、地域住民の協力を得ながら、計画的に事業を進めていく。

担当 用地・地籍調査推進課

款 8 土木費 項 2 道路橋りょう費 目 2 道路維持費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,573,122,155 円	61,315,000 円	円	341,800,000 円	9,493,962 円	1,160,513,193 円

1 道路維持事業	予算現額	1,800,251,000 円
	事業決算額	1,573,122,155 円
	予算執行率	87.4 %

《 事業概要 》

道路利用者が安全、快適に通行できるよう道路機能を維持することを目的に、道路、水路及び附帯構造物の老朽箇所、破損箇所などの修繕、補修並びに路肩等の除草業務及び清掃業務を行い、生活基盤である道路施設の維持管理を行った。

道路維持事業（交付金事業）

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
塔世橋南郊線舗装修繕工事	藤方ほか2町	舗装工 面積 2,308㎡	25,418,800
大里陸合山室町線舗装修繕工事	大里野田町	舗装工 面積 1,680㎡	15,253,700

道路維持事業（北工事事務所）

区分	件数（件）	内容	金額（円）
施設等維持管理業務委託	219	路肩草刈、側溝清掃等	262,555,327
道路維持工事	44	舗装復旧、側溝整備等	381,616,220
環境整備工事	6	道路側溝、舗装等	84,483,300

道路維持事業（南工事事務所）

区分	件数（件）	内容	金額（円）
施設等維持管理業務委託	134	路肩草刈、側溝清掃等	173,818,012
道路維持工事	35	舗装復旧、側溝整備等	289,724,100
環境整備工事	7	道路側溝、舗装等	56,273,200

《 事業評価 》

生活基盤である道路施設の維持保全を図ることができた。引き続き、安全で快適な生活環境を保全するため、地元関係者と協議しながら、緊急性の高い箇所から順次改修を進めていく。

担当 建設整備課
津北工事事務所
津南工事事務所

款 8 土木費 項 2 道路橋りょう費 目 3 道路新設改良費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,826,185,943 円	409,637,280 円	円	1,112,300,000 円	130,213,674 円	174,034,989 円

1 道路新設改良事業

予算現額 2,373,632,369 円
事業決算額 1,826,185,943 円
予算執行率 76.9 %

《 事業概要 》

道路整備計画により、市内の広域交流を促進する道路整備を対象とし、地域の活性化を図るため、幹線道路へのアクセスの改善や、現道拡幅を行い、円滑な交通の確保、安全性に配慮した道路整備を行った。

なお、執行率が76.9%となった主な要因は、国の令和元年度補正予算による交付金の追加交付決定があり、道路新設改良事業（交付金事業）（事業費：337,341,400円）等を令和2年度へ繰越したことによる。

道路新設改良事業（交付金事業）

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
上津架道橋拡幅に係る詳細設計業務委託	上浜町六丁目	詳細設計一式	86,284,302

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
(仮称)久居駅東口公共自転車等駐車場その他建築工事	久居新町	建築面積 自転車等駐車場 1230㎡ 防災備蓄倉庫 27㎡	288,244,000
久居駅東口広場シェルター新築工事（継続事業）	久居新町	建築面積 720㎡	195,163,720
市道新町野口線道路改良工事	久居新町	アスファルト舗装工 面積 2,280㎡ ブロック舗装工 面積 1,172㎡ 側溝工 延長 479m	85,988,100
久居駅東口広場整備工事（継続事業）	久居新町	アスファルト舗装工 面積 2,380㎡ ブロック舗装工 面積 1,406㎡ 照明設備工 12基	83,916,280

用地買収	所在地	筆数(筆)	取得面積(m ²)	金額(円)
上浜町大谷町第1号線外1路線道路改良事業用地	大谷町及び羽所町	2	323.16	39,293,038
高茶屋小森町第24号線道路改良事業用地	高茶屋小森町	2	506.88	13,685,760
一身田町長岡線(一身田工区)道路改良事業用地	一身田町	5	226.82	9,867,364

道路新設改良事業(道路等特定事項)

委託名	委託場所	委託内容	金額(円)
半田久居線及び雲出野田線地質調査業務委託	半田	機械ボーリング 深度 31m	4,304,880

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
三谷中津線道路改良工事	美杉町下之川	掘削工 体積 20,930m ³ 法面吹付工 面積 3,058m ² 排水工 延長 415m	131,630,400

用地買収	所在地	筆数(筆)	取得面積(m ²)	金額(円)
脇ヶ野篠ヶ広線道路改良事業用地	美杉町八手俣	5	6,551.16	5,935,527
	美杉町下之川	3	2,171.49	1,085,745

道路新設改良事業(市単独事業)

工事名	施工場所	工事内容	金額(円)
谷杣線道路改良工事	榊原町	コンクリートブロック工 面積 217m ² 側溝工 延長 56m 舗装工 面積 233m ²	27,991,700
高野尾町芸濃線道路改良工事	高野尾町	プレキャスト擁壁工 延長 37m 側溝工 延長 26m 舗装工 面積 424m ²	24,829,200
大里野田町第11号線道路改良工事	大里野田町	側溝工 延長 23m 舗装工 面積 1559m ² 路側防護柵工 延長 138m	22,247,500

《 事業評価 》

交付金事業においては、市道新町野口線、一身田町長岡線など道路整備や久居駅周辺地区都市再生整備計画事業及び大谷踏切拡幅事業を進めるとともに、市単独事業においても、谷杣線、高野尾町芸濃線、大里野田町第11号線など道路整備を行うことができた。

今後も引き続き、幹線道路へのアクセスの改善や現道拡幅を行い、円滑な交通の確保を図るとともに、安全性に配慮した道路整備に努めていく。

担当 建設整備課

款 8 土木費 項 2 道路橋りょう費 目 4 橋りょう維持費

決算額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
577,878,653 円	307,426,350 円	円	193,100,000 円	1,627,000 円
				75,725,303 円

1 橋りょう維持事業

予算現額 695,316,000 円
 事業決算額 577,878,653 円
 予算執行率 83.1%

《 事業概要 》

橋梁の安全性、信頼性を確保するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、修繕が必要（健全度Ⅲ）とされた橋梁の修繕を行うとともに、津興橋大規模更新事業に伴う仮橋架設等工事に着手した。

橋りょう維持事業（交付金事業）

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
東川橋ほか9橋橋梁長寿命化修繕（上部工）工事	高野尾町ほか7町	断面修復工 9橋 ひび割れ補修工 1橋	6,248,000
津興橋大規模更新事業に伴う仮橋架設等工事（継続事業）	津興ほか2町	仮橋・仮栈橋上部工 136m 橋脚工 149本	440,000,000 (出来高部分払い)

《 事業評価 》

橋梁の安全性や信頼性を確保した道路サービスを提供するために、点検により修繕が必要（健全度Ⅲ）と評価された橋梁の修繕・更新を順次進めていき、「事後保全型」の維持管理から「予防保全型」の維持管理へ転換し、橋梁の長寿命化と修繕にかかる費用の縮減を図っていく。

津興橋大規模更新事業は、仮橋架設等工事に着手し、12月に現在の津興橋から仮橋への通行の切替えを計画通り行うことができた。引き続き計画的に事業を進めていく。

担当 建設整備課
 津北工事事務所
 津南工事事務所

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
68,527,548 円	円	円	円	円	68,527,548 円

1 交通安全施設等整備事業

予算現額 16,488,789 円
 事業決算額 16,118,547 円
 予算執行率 97.8 %

《 事業概要 》

道路を通行する歩行者、車両等の安全確保を図るため、道路反射鏡、防護柵、視線誘導標、区画線、道路照明灯等の設置を行った。

交通安全施設等整備事業（北工事事務所）

区分	件数 (件)	内容	金額 (円)
交通安全施設整備工事	3	防護柵の設置・道路照明灯設置	4,729,600
道路反射鏡等設置委託	27	道路反射鏡、防護柵設置等	5,609,789

交通安全施設等整備事業（南工事事務所）

区分	件数 (件)	内容	金額 (円)
交通安全施設整備工事	3	区画線設置・防護柵設置	3,609,900
道路反射鏡等設置委託	5	道路反射鏡設置	1,494,226

《 事業評価 》

安全で安心な道路環境づくりに向け交通安全施設を整備することにより、道路通行者の安全確保を図ることができた。今後も引き続き、公安委員会、教育委員会、地元等と連携して、交通安全施設の更新や整備を推進していく。

担当 津北工事事務所
 津南工事事務所

2 交通安全施設等維持事業

予算現額 60,056,211 円
 事業決算額 52,409,001 円
 予算執行率 87.3 %

《 事業概要 》

道路交通の安全確保のため設置されている交通安全施設の老朽化、破損等による施設の修繕及び区画線の設置など交通安全施設の改修、改良等を行った。

交通安全施設等維持事業（北工事事務所）

区分	件数 (件)	内容	金額 (円)
交通安全施設修繕等	98	街路灯、道路反射鏡、防護柵修繕等、区画線設置	23,433,994
区画線設置業務委託	20	区画線設置	10,199,987
施設維持補修工事	1	区画線設置	3,997,400

交通安全施設等維持事業（南工事事務所）

区分	件数 (件)	内容	金額 (円)
交通安全施設修繕等	7	地下道照明灯、防護柵修繕等	3,323,650
区画線設置業務委託	7	区画線設置	2,211,331
施設維持補修工事	1	区画線設置	7,190,700

《 事業評価 》

安全で安心な道路環境づくりに向け交通安全施設を維持・補修することにより、道路通行者の安全確保を図ることができた。今後も引き続き、交通安全施設の維持保全等の改修を緊急性の高い箇所より順次進めていく。

担当 津北工事事務所
津南工事事務所

款 8 土木費 項 3 河川費 目 1 河川総務費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
56,580,574 円	円	円	円	円	56,580,574 円

2 河川管理事業

予算現額 15,370,000 円
事業決算額 8,400,090 円
予算執行率 54.7 %

《 事業概要 》

河川事業の整備、促進に係る国・県等の調整業務及び事業要望活動及び、ため池の調整池利用の検討や排水対策にかかる測量設計を行った。

なお、執行率が54.7%となった要因は、雨水排水計画策定事業（事業費：6,153,400円）を令和2年度へ繰越したことによる。

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
農業用ため池調整池化転用利用検討業務委託	千歳池及び香水池	貯留施設計画策定	3,278,000
市内各所浸水対策測量調査設計業務委託	戸木町等	測量調査設計	3,075,066

《 事業評価 》

地元関係団体と、国・県への事業要望活動を行い、河川整備の事業促進を図ることができた。また、局所的な排水対策の計画を進めることができた。

担当 事業調整室
河川排水推進室

款 8 土木費 項 3 河川費 目 2 河川維持費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
108,569,010 円	円	330,000 円	5,700,000 円	2,102,800 円	100,436,210 円

1 河川維持事業

予算現額 105,654,000 円
 事業決算額 100,679,010 円
 予算執行率 95.3 %

《 事業概要 》

排水能力の確保及び河川断面を確保することにより、周辺の浸水被害の低減と悪臭の解消を図ることを目的に準用河川、幹線水路、調整池等の土砂しゅんせつ及び草刈等の委託や改修工事を行った。

河川維持事業（北工事事務所）

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
河川・排水路及び調整池等の維持管理業務委託	藤方幹線水路サイエンス調整池等	準用河川・排水路及び調整池等の草刈等	25,444,508
河川・排水路及び調整池等しゅんせつ業務委託	グリーンヒル津調整池等	準用河川・排水路及び調整池等の土砂等のしゅんせつ	28,989,250

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
普通河川上五除川護岸修繕工事	安濃町戸島	護岸修繕	5,670,500
準用河川五百野川護岸修繕工事	美里町五百野	護岸修繕	1,400,300

河川維持事業（南工事事務所）

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
河川・排水路及び調整池等の維持管理業務委託	高茶屋小森町等	準用河川・排水路及び調整池等の草刈等	23,185,737
河川・排水路及び調整池等しゅんせつ業務委託	高茶屋小森町等	排水路及び調整池等の土砂等のしゅんせつ	10,461,772

《 事業評価 》

河川の土砂しゅんせつ等を行うことにより、降雨時における河川の排水能力を高め、河川の氾濫等による浸水被害の低減を図ることができた。今後も引き続き河川の維持保全等に努め、緊急性の高い箇所より順次進めていく。

担当 津北工事事務所
 津南工事事務所

2 急傾斜地崩壊対策事業

予算現額 9,650,000 円
 事業決算額 7,890,000 円
 予算執行率 81.8 %

《 事業概要 》

県が事業主体である急傾斜地崩壊対策事業を円滑に進めるため、県・地元との調整及び県施工事業費を負担した。

《 事業評価 》

地域住民の安全性を確保するため、県施工事業費を負担し、事業推進を図ることができた。今後も引き続き県に対して事業の実施を要望していく。

担当 河川排水推進室

款 8 土木費 項 3 河川費 目 3 河川改良費

決算額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
17,315,430 円	円	円	円	円
				17,315,430 円

1 河川改修事業

予算現額 18,572,000 円
 事業決算額 17,315,430 円
 予算執行率 93.2 %

《 事業概要 》

河川改修を進めるにあたり境界測量を行った。また、浸水被害の低減を図るため、局所改良として排水路整備等を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
準用河川朝日新川境界測量	安濃町野口	境界測量	1,499,630

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
森町地内排水路整備工事	森町	排水路の整備 延長 91m	8,430,400
戸木町地内排水路整備工事	戸木町	排水路の整備 延長 22m	6,229,300
兵丹池ゲート設置工事	上浜町六丁目	ゲート設置	1,156,100

《 事業評価 》

排水路整備等を行うことにより、降雨時における排水能力を高め、浸水被害の低減を図ることができた。今後も引き続き局所改良に努め、緊急性の高い箇所より順次進めていく。

担当 河川排水推進室

款 8 土木費 項 3 河川費 目 4 河川施設費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
183,359,584 円	円	506,040 円	円	円	182,853,544 円

1 排水施設維持管理事業

予算現額 227,017,000 円
 事業決算額 183,359,584 円
 予算執行率 80.8 %

《 事業概要 》

大雨による浸水被害を防ぐため、市内の排水機場（30機場）について、日常の点検業務や修繕等を効率的に執行し、適正な維持管理に努めた。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
中央浄化センター等包括的維持管理業務委託	市内排水機場30施設	排水機場のポンプ設備・電気設備等の保守点検等	14,231,040
排水機場遊水池等しゅんせつ業務委託	白塚排水機場ほか2箇所	排水機場の土砂等のしゅんせつ	11,273,580

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
藤方排水機場電気設備（自家用発電機等）改築工事	藤方	自家用発電機の更新	49,258,800

《 事業評価 》

排水機場各設備の適正な維持管理や老朽化した設備の修繕により、排水機能を確保することができた。

担当 下水道施設課

款 8 土木費 項 4 港湾費 目 1 港湾管理費

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
61,842,482 円	円	346,240 円	円	円	61,496,242 円

1 港湾・海岸維持管理事業

予算現額 3,453,000 円
 事業決算額 1,362,921 円
 予算執行率 39.5 %

《 事業概要 》

御殿場海岸広場や雲出臨港緑地の維持管理を行った。

なお、執行率が39.5%となった主な要因は、市内の海岸清掃等に係る県への負担金等に要する費用が少なかったことによる。

《 事業評価 》

御殿場海岸広場や雲出臨港緑地の維持管理に努め、市民が憩える場所の提供ができた。

担当 建設政策課
河川排水推進室
津北工事事務所
津南工事事務所

2 港湾整備事業

予算現額 178,000 円
事業決算額 171,040 円
予算執行率 96.1 %

《 事業概要 》

重要港湾津松阪港の港湾計画に基づき、港湾整備等の事業化を図るため、国や県との協議・調整等を行った。

《 事業評価 》

港湾の施設整備について、管理者である県や関係機関と連携し、老朽化した港湾施設の改修に向け、事業の進捗を図ることができた。

担当 事業調整室
河川排水推進室

3 津なぎさまち管理運営事業

予算現額 60,313,236 円
事業決算額 60,308,521 円
予算執行率 100.0 %

《 事業概要 》

海上アクセス拠点である津なぎさまちにおいて、指定管理者制度による施設の適正な維持管理を行い、市民の憩いの場の提供に努めた。

また、安定した運航事業を確立するために、運航事業者や関係部局等と連携しながら利用促進に努めた。

区分	内容	金額 (円)
海上アクセス拠点管理委託料	指定管理者による施設の維持管理	38,789,830
事業委託料	海上アクセス利用者アンケート 津なぎさまちイメージアップ事業	5,536,520
駐車場用地借上料	第2～第4駐車場 286台分	13,728,000

《 事業評価 》

指定管理者制度により施設利用者の利便性、快適性に配慮した適正な施設の管理運営を行うことができた。

海上アクセスの利用促進への取組として、県や運航事業者、中部国際空港、中部みなとオアシス連絡協議会などと連携し、県内外において海上アクセス事業のPRを実施した。

また、津なぎさまちフェスタ、冬季イルミネーション、津なぎさまち開港15周年記念事業等を実施し、海上アクセス拠点としての津なぎさまちの魅力を発信した。

高速船の運航においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の影響により、前年度と比べて利用者が12,061人減少し277,326人となった。

担当 交通政策課

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
6,764,687 円	円	円	円	円	6,764,687 円

1 伊勢湾ヘリポート管理運営事業

予算現額 6,840,764 円
 事業決算額 6,764,687 円
 予算執行率 98.9 %

《 事業概要 》

指定管理者制度による安全性の確保に留意したヘリポートの適正な管理運営を図ることにより、ヘリポートの円滑な運営を行った。

また、伊勢湾ヘリポート維持管理・更新計画に基づき、時間経過に伴う劣化の進行状況等を定期的に把握することを目的として5年に1度の実施を定めている基本施設（着陸帯、誘導路、エプロン）の定期点検測量を行うとともに、絶縁抵抗が不良となっていた航空灯火施設の配線改修を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
伊勢湾ヘリポート測量業務委託	雲出鋼管町	基本施設の定期点検測量	594,000

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
伊勢湾ヘリポート航空灯火施設改修工事	雲出鋼管町	航空灯火施設の電気工	4,824,600

《 事業評価 》

施設の管理について、指定管理者と連携し、安全性を第一に考えたヘリポートの適正な管理運営を行うことができた。

また、策定済みの計画を基本に、翌年度の大阪航空局の検査を踏まえ、計画的な整備等を行うことができた。

担当 交通政策課

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
809,663,983 円	80,138,000 円	14,559,210 円	5,400,000 円	275,848,320 円	433,718,453 円

2 交通政策関係事業

予算現額 255,843,000 円
 事業決算額 254,668,739 円
 予算執行率 99.5 %

《 事業概要 》

津市地域公共交通網形成計画に基づき、市内外への移動手段を確保するため、市自主運行バス及びコミュニティバスを運行するとともに、市民自主運行バス事業及び地域住民運営主体型コミュニティ交通事業に補助を行った。

コミュニティバスの運行については、地域住民や利用者の意見を踏まえ、必要に応じた運行の見直しと改善を図った。

また、路線バス及びコミュニティバスが運行されていない地域等においては、地域住民運営主体型コミュニティ交通事業補助金の活用を図り、高松山団地乗合ワゴン、白山町二俣地区及び上佐田地区における乗合タクシー事業に対し支援した。

さらに、令和2年3月をもって津市地域公共交通網形成計画の計画期間が満了することから、市民の日常生活に必要な移動手段を確保するとともに、機能的かつ効率的な公共交通網を整備していくため、令和2年3月31日付けで令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする第2次津市地域公共交通網形成計画を策定した。

○市自主運行バス事業 延べ利用者数 111,443人 金額 65,911,790円

収支の悪化により廃止となった民間事業者による営業バス路線について、市民の日常生活における移動手段を確保するため、業務委託により廃止代替バスとして維持を図った。

なお、対象路線は7路線（三行線、津新町大里線、安濃線、亀山棕本線、多気線、榊原線の一部及び名張奥津線の一部）である。

○市民自主運行バス事業 延べ利用者数 17,932人 金額 4,000,000円

既存路線バスとの連携を保ちながら市民の交通手段の充実を図り、交通の利便性の確保に寄与することを目的として、非営利活動法人が主体となって実施する事業に対し補助を行った。

○コミュニティバス運行事業 延べ利用者数 94,452人 金額 176,280,092円

市内8地域（久居、河芸、芸濃、美里、安濃、一志、白山及び美杉地域）において、24ルートを運行しており、乗降調査や利用者・地元住民からの意見を踏まえ、地域の特性やニーズを把握し、地域の実情に応じた運行の見直しと改善を行った。

また、（一財）自治総合センターが実施するコミュニティ助成金を活用し、河芸地域にノンステップバス車両を導入した。

○地域住民運営主体型コミュニティ交通事業 延べ利用者数 82人 金額 75,000円

路線バス及びコミュニティバスが運行されていない地域等において、地域住民の移動手段の確保に寄与することを目的として、地域住民が運営主体となって行うコミュニティ交通事業に対し補助を行った。

《 事業評価 》

市自主運行バス及び市民自主運行バスについては、市民の移動手段を確保するため、運行に係る事業委託及び事業補助を行い、それぞれのバス事業の継続に取り組むことができた。コミュニティバスについては、運行ルートの見直しや停留所の新設等により、利用者にとっての利便性をより一層高めることができた。地域住民運営主体型コミュニティ交通については、問題点・課題の整理、分析などの助言を行い支援することができた。

担当 交通政策課

3 都市計画関係事業

予算現額 920,000 円
 事業決算額 834,533 円
 予算執行率 90.7 %

《 事業概要 》

都市計画法に基づく各種許認可、届出事務及び都市計画に関する基本的な方針（都市マスタープラン）に基づく都市計画の変更等の業務を行った。

また、都市計画図等修正業務委託により、WebGISシステムの都市計画情報を更新した。

区分	委員数 (人)	開催回数 (回)	審査案件数 (件)	報酬 (円)
都市計画審議会	15	2	4	117,000

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
都市計画図等修正業務委託	都市計画区域内	WebGISの都市計画情報更新のためのデータ作成等	448,800

《 事業評価 》

都市マスタープランの方針に基づき、地区計画及び都市計画公園、都市計画道路について都市計画審議会の議を経た上で、都市計画の変更を行い、本市が目指す都市構造の構築を進めることができた。

また、都市計画図等修正業務委託により、WebGISシステムの都市計画情報を更新することで、最新の都市計画情報をホームページで公開することができた。

担当 都市政策課

4 景観形成関係事業

予算現額 4,107,000 円
 事業決算額 3,871,312 円
 予算執行率 94.3 %

《 事業概要 》

三重県屋外広告物条例に基づく屋外広告物の許可・指導、景観法に基づく届出制度による建築物等の審査等によって、市域の良好な景観の形成に関する業務を行った。

また、津市景観計画における重点地区に指定した地域を対象とした「まちなみ修景整備事業補助金」制度を運用し、景観の保全、創出等を支援した。

屋外広告物取扱件数

区分	件数 (件)	区分	件数 (件)
はり紙・立看板	6	横断幕・アドバルン	4
広告板・広告塔	1,890	広告旗	182
電柱等広告	4,831	その他	147
		合計	7,060

まちなみ修景整備事業補助金

場所	種類	数量(基)	金額(円)
一身田寺内町	軒・庇、外壁の改修	1	207,000
一身田寺内町	外構の改修	1	672,000
美杉町奥津(須郷)	屋根、車庫の改修	1	956,000
美杉町奥津(須郷)	外構の改修	1	165,000
合計		4	2,000,000

《事業評価》

三重県屋外広告物条例に基づき屋外広告物設置の許可や指導等を行ったことで、適正な掲示を誘導することができた。

景観行政団体として、景観法に基づく届出の審査の中で、助言・指導を行うなど、良好な景観形成を図ることができた。

これまで独自の景観形成基準の策定を目指し地元住民と協議を進めてきた美杉町三多気地区及び奥津地区において平成31年4月から重点地区に指定することができた。

また、既に重点地区に指定している一身田寺内町地区及び新たに指定した美杉町三多気地区及び奥津地区を対象に「まちなみ修景整備事業補助金」制度の運用、支援を通じて本市の特徴的な景観の保全・創出に寄与することができた。

担当 都市政策課

5 建築指導関係事業

予算現額 2,658,000 円
事業決算額 2,615,119 円
予算執行率 98.4 %

《事業概要》

建築基準法に基づき、建築確認申請の受付及び審査、中間検査、建築確認を受けた建築物等の完了検査を行った。その他、特定行政庁が認める許可等に関する事務を行った。

申請受付等件数

区分	件数(件)
建築物等に関する確認申請	83
建築物等に関する完了検査申請	80
各種許可等申請	36
長期優良住宅認定申請	535
低炭素建築物認定申請	3

《事業評価》

審査、検査などの取扱いに関し、他の特定行政庁及び指定確認検査機関と情報交換を行うことなどにより、事務を円滑に遂行することができた。

担当 建築指導課

6 開発指導関係事業

予算現額 183,000 円
事業決算額 182,590 円
予算執行率 99.8 %

《事業概要》

市内で宅地開発等を行おうとする事業者等に対して、良好な宅地水準を確保するため、面積や形状により都市計画法の許可及び指導要綱等の確認に関する事務処理や指導を行った。

区分	件数 (件)	区分	件数 (件)
開発行為許可、同変更許可申請	61	建築物の新築、改築若しくは用途変更の新設許可申請	38
建築物等の建築等の承認申請	2	開発登録簿の写し交付	149
予定建築物等以外の建築等許可申請	2	適合証明書の交付	58
		指導要綱・その他	15

《 事業評価 》

開発事業等の申請や届出等に際し、開発事業者等との協議を行い、より良好な住環境や景観の保全・創出のため、事業者等に協力を求めながら適正な指導を行うことができた。

担当 開発指導室

9 名松線復旧関係事業

予算現額 615,000 円
 事業決算額 613,945 円
 予算執行率 99.8 %

《 事業概要 》

平成27年度に完了した名松線の復旧事業に係る登記を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
名松線関係復旧事業登記事務委託	美杉町八知等	調査・測量・登記 26筆	600,985

《 事業評価 》

復旧関係事業において実施した整備箇所に係る土地の登記を行うことができた。今後も地権者との協議の進捗状況に合わせて登記処理等を進めていく。

担当 交通政策課

10 名松線利活用関係事業

予算現額 4,256,000 円
 事業決算額 4,114,491 円
 予算執行率 96.7 %

《 事業概要 》

地域住民の生活に根差した公共交通機関として、また観光資源として、名松線の利用促進により、交流人口を拡大し、沿線地域の活性化及び地域振興につなげるため、市内のみならず市外、都市圏においてもPR活動を行うなど、名松線及び沿線地域の魅力を紹介する取組を行った。また、県及び松阪市と立ち上げた名松線沿線地域活性化協議会を通じて、広域的な連携を伴ったPR活動を行うとともに、JR東海松阪駅及び伊勢運輸区と協力して名松線利活用促進に努めた。

事業内容	期間	参加人数 (人)
臨時バス運行		
春季有料臨時バス	4月6日～7日、4月20日～21日 (4日間)	188
GW期間無料バス	4月27日～29日、5月2日～5日 (7日間)	401
秋季無料臨時バス	10月13日～14日、11月8日～10日 (5日間)	174

事業内容	期間	参加人数 (人)
名松線沿線いいとこめぐりツアー (春季)	4月2日、5月1日、5月17日	94
名松線沿線いいとこめぐりツアー (秋季)	10月16日、10月30日、11月20日	96
夏休み名松線で行く！宿題解決と自然満喫プラン	8月2日～3日 (2日間)	32
小学生夏休みJR名松線作品募集	8月1日～9月20日	209
小学生夏休みJR名松線作品展示	10月4日～6日 (3日間)	165
ツアー企画造成販売及び情報発信業務	11月11日、11月16日	55

《 事業評価 》

名松線を観光資源として活用促進が図られるよう津市観光ボランティアガイドネットワーク協議会に委託して名松線沿線の「いいとこ」を巡るツアーを実施した。このほか、市内小学生親子を対象とした夏休み名松線で行く！宿題解決と自然満喫プランを実施し、どちらも大変好評であった。

また、美杉地域への交流人口拡大策として、三重交通の路線バスの延伸及び増発運行を委託による臨時バスで実施し、名松線の各駅から観光拠点への交通アクセスを補うことで名松線の利用促進を図ることができた。

市外、県外での周知を図るためのPR活動については、東京（ついで）、大阪（森林の市）、愛知（金山総合駅名松線沿線PRイベント）、鈴鹿（F1日本グランプリ）にて行った。金山総合駅にて開催したイベントでは、名松線沿線地域活性化協議会、津市観光協会等と連携して名松線と沿線地域の魅力をPRすることができた。

初の実施となるツアー企画造成販売及び情報発信業務では、コンペ方式にて決定した業者が企画・運営・販売からアンケート集計までの一切を行い、今後の名松線利活用事業実施のためのデータを蓄積することができた。

担当 美杉・地域振興課

11 耐震化促進事業

予算現額 98,595,000 円
 事業決算額 87,293,158 円
 予算執行率 88.5 %

《 事業概要 》

津市耐震改修促進計画に掲げる耐震化率の目標達成に向けて、昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された木造住宅について、大規模地震による被害の軽減を目的とし、「木造住宅無料耐震診断住宅訪問啓発事業」「木造住宅耐震診断等事業」「木造住宅耐震補強計画作成事業」「木造住宅耐震補強事業」「木造住宅除却事業」「ブロック塀等撤去改修事業」の推進に努めた。

また、三重県地域防災計画に定める第一次緊急輸送道路の沿道建築物で、倒壊により道路を閉塞するおそれのある一定の高さを有する建築物の耐震化を促進するため、「避難路沿道建築物耐震診断事業」等の実施を所有者に対して促した。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
木造住宅無料耐震診断住宅訪問啓発業務委託	市内全域	耐震化事業の周知及び無料耐震診断受診の促進 訪問件数 6,350件 無料耐震診断の申込 227件	4,488,000
木造住宅耐震診断等業務委託	市内全域	無料耐震診断の実施 487件 (うち、227件は上記「木造住宅耐震診断住宅訪問啓発業務委託」による申込)	22,821,840

区分	件数 (件)	金額 (円)
木造住宅耐震補強計画作成事業補助金	12	960,000
木造住宅耐震補強事業補助金	9	11,700,000
木造住宅除却事業補助金	120	35,785,000
ブロック塀等撤去改修事業補助金	73	7,783,000
避難路沿道建築物耐震診断事業補助金	1	2,089,000
避難路沿道建築物耐震補強計画事業補助金	1	1,306,000

《 事業評価 》

木造住宅無料耐震診断住宅訪問啓発業務委託による住宅への戸別訪問、耐震補強無料相談会の実施、耐震診断を受診した方へのダイレクトメールの発送など種々の啓発活動を実施した。

また、耐震補強計画作成や補強工事、木造住宅の除却等への支援を行ったことで、耐震化の促進を図ることができた。

担当 建築指導課

12 空家等対策関係事業

予算現額 7,479,000 円
 事業決算額 6,355,794 円
 予算執行率 85.0 %

《 事業概要 》

空家等対策を総合的かつ計画的に実施するため策定した津市空家等対策計画に基づき、市内全域を対象地域とした津市空き家情報バンクの運用を図り、空き家情報バンクの登録物件の掘り起こしや成約件数の増加を目指した取り組みを進めるとともに、県補助金を活用した津市移住促進のための空き家リノベーション支援事業補助金の運用、支援を行うなど、市内の空き家等の利活用の促進を図った。

また、令和元年度中に危険な空き家に関する相談は89件寄せられ、これまでに相談等で把握している空き家で未改善のものにあわせ、定期パトロール等で現在の状況を確認し、所有者に対して文書や訪問面談等により、補修や解体による改善を繰り返し求めた。特に、空家等対策の推進に関する特別措置法に定める「特定空家等」については、特定空家等除却補助金の利用と、改善対応が進まない所有者に対しては法に基づく「指導」を15件、「勧告」を4件行うことで改善を促した。

さらに、美里町五百野地内の特定空家等について、所有者に改善する意思が見られず、道路への倒壊の危険があったことから行政代執行による解体を行った。

空き家等対策に係る補助金

区分	件数 (件)	金額 (円)
移住促進のための空き家リノベーション支援事業補助金	2	852,000
特定空家等除却補助金	9	2,700,000

行政代執行に係る工事			
工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
美里町五百野地内特定空家等解体工事	美里町五百野	解体工 一式	2,618,000

《 事業評価 》

市内全域を対象地域とした津市空き家情報バンクの運用を図り、空き家情報バンクの登録物件の掘り起こしや成約の増加を目指し、空き家所有者へ利活用を促すダイレクトメールを送付したり、空き家見学会を開催するなどの取組を進めた結果、18件成約することができた。さらに県補助金を活用した津市移住促進のための空き家リノベーション支援事業補助金を活用し、リノベーションを2件支援するなど、空き家の利活用を促すことができた。

危険な空き家に関しては、所有者への訪問面談による働きかけ等により改善を促し、加えて、補助金の活用で特定空家等の除却を進め、地域の不安の解消に努めることができた。また、所有者による改善が見込めない特定空家等に対しては、行政代執行を実施することで、当該地域の生活道路の安全を確保することができた。

担当 都市政策課
 建築指導課

13 狭あい道路整備事業

予算現額 51,695,000 円
 事業決算額 51,617,370 円
 予算執行率 99.8 %

《 事業概要 》

狭あい道路の拡幅整備に必要な用地を確保するため、道路拡幅用地の本市への寄附を目的とする測量、分筆登記、支障物件の除却等に要する費用の一部を助成し、土地の提供を受けるとともに、道路拡幅用地を整備し、維持管理を行った。

区分		件数 (件)	金額 (円)
道路中心立会申請		79	
助成金	測量・分筆登記費	51	7,590,000
	除却費	17	1,822,000
報償金		51	8,630,000

寄附を受けた道路拡幅用地

延長 (m)	1,362	面積 (㎡)	1,151
--------	-------	--------	-------

津北工事事務所

工事名	件数 (件)	施工場所	金額 (円)
狭あい道路整備工事	20	芸濃町椋本、上浜町六丁目、安濃町大塚、大里山室町等	26,690,300

津南工事事務所

工事名	件数 (件)	施工場所	金額 (円)
狭あい道路整備工事	5	牧町、木造町、中村町、久居西鷹跡町、久居新町	4,277,000

《 事業評価 》

道路拡幅用地の寄附を受けて整備することにより、道路の幅員が広がり、狭あい道路の解消を推進することができた。

担当 建築指導課
 津北工事事務所
 津南工事事務所

款 8 土木費 項 5 都市計画費 目 2 土地区画整理費

決算額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
256,133,000 円	円	円	円	円
				256,133,000 円 (うち都市計画税充当額) 159,278,000 円

1 土地区画整理事業

予算現額 268,368,000 円
 事業決算額 256,133,000 円
 予算執行率 95.4 %

《 事業概要 》

土地区画整理事業に係る測量設計業務委託料、宅地整地等工事費及び起債の償還など、事業の推進を図るため、土地区画整理事業特別会計へ繰出を行った。

《 事業評価 》

土地区画整理事業特別会計へ繰出を行うことにより、事業を推進させることができた。

担当 都市政策課

款 8 土木費 項 5 都市計画費 目 3 街路事業費

決算額	財源内訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
2,716,341 円	円	円	円	円	2,716,341 円

2 街路整備関係事業	予算現額	2,741,000 円
	事業決算額	2,716,341 円
	予算執行率	99.1 %

《 事業概要 》

街路整備事業を円滑に進めるにあたり、保有地の除草業務を行った。

《 事業評価 》

街路整備事業に係る保有地の適切な維持管理を行うことができた。

担当 津北工事事務所
津南工事事務所

款 8 土木費 項 5 都市計画費 目 4 公共下水道費

決算額	財源内訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
5,311,809,000 円	円	円	円	円	5,311,809,000 円 (うち都市計画税充当額) 1,918,029,000 円

1 公共下水道事業	予算現額	5,311,809,000 円
	事業決算額	5,311,809,000 円
	予算執行率	100.0 %

《 事業概要 》

公共下水道事業の経営の健全化を促進し、その経営基盤を強化するため、下水道事業会計へ繰出を行った。主に、雨水処理に要する経費、汚水処理に要する経費、流域下水道の建設に要する経費、下水道事業債の償還に要する経費等である。

公共下水道事業 4,744,099,000 円 (うち繰出基準額 4,014,805,000 円)
 特定環境保全公共下水道事業 567,710,000 円 (うち繰出基準額 467,264,000 円)

《 事業評価 》

下水道整備を積極的に推進し公共下水道の普及を図る中で、下水道事業会計への繰出を行い、経営の健全化を図ることができた。

担当 経営企画課

款 8 土木費 項 5 都市計画費 目 5 公園費

決算額	財源内訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
355,591,892 円	11,100,000 円	円	11,700,000 円	30,735,188 円	302,056,704 円 (うち都市計画税充当額) 14,444,000 円

2 公園管理事業 予算現額 2,543,000 円
事業決算額 1,929,862 円
予算執行率 75.9%

《 事業概要 》

各公園における施設情報の把握や各種要望への対応を的確かつ円滑に行うために、整理した公園管理システムのデータを活用して管理を行った。

なお、執行率が75.9%となった主な要因は、公園管理システムの更新・整理の件数が例年より少なかったため、業務委託に要する費用が少なかったことによる。

《 事業評価 》

公園管理システムを活用し、各公園における基本的な施設情報等を共有したことにより、関係課との連携や各種要望への対応などをより円滑に処理することができた。

担当 建設整備課

3 公園維持事業 予算現額 233,284,816 円
事業決算額 223,247,997 円
予算執行率 95.7%

《 事業概要 》

公園管理について、地元自治会等へ清掃及び管理業務を委託するとともに、職員による巡視だけでなく、専門業者による遊具等施設の定期点検を実施し、都市公園等の利用者が、施設を安全かつ快適に利用できるように、適正な維持管理を行った。

公園維持事業（北工事事務所）

区分	業務内容	金額（円）
公園施設修繕	トイレ、照明灯、ベンチ等修繕	19,135,022
自治会等への清掃及び管理業務委託	除草、清掃、剪定等	37,259,707
業者等への公園維持管理業務委託	除草、清掃、剪定等	89,285,015
公園施設点検等業務委託	浄化槽維持管理、遊具等保守点検	10,070,542

公園維持事業（南工事事務所）

区分	業務内容	金額（円）
公園施設修繕	照明灯、フェンス等修繕	1,044,813
自治会等への清掃及び管理業務委託	除草、清掃、剪定等	23,013,810
業者等への公園維持管理業務委託	除草、清掃、剪定等	8,191,888
公園施設点検等業務委託	浄化槽維持管理、遊具等保守点検	732,087

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
小森向山公園修繕工事	高茶屋小森町	パーゴラ設置	3,780,700
ふれあい広場公園トイレ設備撤去工事	久居緑が丘町一丁目	トイレ設備撤去	191,400

《 事業評価 》

宅地開発による新設公園など所管する公園数が増加する中、地元自治会等への清掃及び管理業務委託などを実施するとともに、老朽化施設の修繕や地域住民からの要望に対して緊急性なども考慮した処置を行い、地域住民の憩いや交流の場として、安全かつ安心して利用できるように、適正な維持管理に努めることができた。

担当 津北工事事務所
津南工事事務所

4 公園整備事業

予算現額 472,535,784 円
事業決算額 93,977,198 円
予算執行率 19.9%

周辺環境との調和を図りながら、レクリエーションや憩いの場などとして利用できるよう都市公園の整備を進めた。

(1) 都市公園整備事業

《 事業概要 》

岩田池公園については、公園北側の園路整備に伴うため池堤防移設に係る実施設計を行い、香良洲高台防災公園については、高台盛土の敷地造成とともに、雨水排水を行う暗渠排水管の整備を行った。

また、各公園の利用形態が変化するなかで、老朽化した施設の安全確保や地域住民のニーズに応えながら、都市公園の機能を維持するための施設整備を行った。

なお、執行率が19.9%となった主な要因は、国の令和元年度補正予算による交付金の追加交付決定があり、都市公園整備事業（事業費：371,000,000円）を令和2年度へ繰越したことによる。

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
岩田池公園整備事業に伴うため池改修設計等業務委託	西阿漕町岩田	公園実施設計一式	12,036,200

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
香良洲高台防災公園整備（造成）工事	香良洲町	築堤盛土工 体積 11,500m ³	21,704,100
香良洲高台防災公園仮設排水管設置工事	香良洲町	暗渠排水管布設工 延長 134m	6,947,600
香良洲高台防災公園仮設排水管設置工事（その2）	香良洲町	暗渠排水管布設工 延長 95m	5,721,100

《 事業評価 》

公園の整備計画を基本に、計画的かつ継続的な整備を行うことができた。

また、香良洲高台防災公園において、今後の本格的な工事着手に向けた事前の対策工事を行うことができた。

(2) 各公園施設整備事業

《 事業概要 》

各公園の利用形態が変化するなかで、老朽化した施設の安全確保や地域住民のニーズに応えながら、都市公園の機能を維持するための施設整備を行った。

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
中勢グリーンパーク整備工事	あのかつ台五丁目	遊具組立設置工	1,106,600
一身田東公園公共下水道管接続工事	一身田町	管渠工、汚水枿・マンホール工	1,081,300

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
お城公園内便所天井改修工事	丸之内	内装改修工	1,045,000
偕楽霊苑内道路整備(舗装)工事	観音寺町	舗装工 面積 523㎡	6,960,800

《 事業評価 》

老朽化が著しい施設については緊急度を勘案して各施設の整備を行い、利用形態の変化に合わせ、幼児や児童だけでなく、市民が日常的に都市公園等を利用できるよう都市公園の環境を向上させることができた。

担当 建設整備課

5 緑化推進事業

予算現額 9,785,000 円
事業決算額 8,691,124 円
予算執行率 88.8 %

《 事業概要 》

地域緑化、家庭緑化の推進を図るため、記念樹配布事業、生け垣緑化用苗木配布事業を行うとともに、公共空間の緑化推進を目的に自治会・団体等への緑化・美化運動による花苗等の配布を行った。また、緑に囲まれた住みよい環境づくりと、災害に強く良好な都市景観の形成を図るため、生け垣を設置する費用を補助する生け垣緑化推進事業補助金を交付し、支援を行った。

緑化の普及啓発を図るため、秋(9月)に津市民緑と花の市を開催し、3日間で約1,380人の方に来場いただいた。

第28回津市民緑と花の市の開催(9月27日から9月29日まで)

※第29回津市民緑と花の市については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の影響により中止。

苗木配布等事業

事業名	配布件数(本・件)	金額(円)
生け垣緑化用苗木配布事業	13	294,107
記念樹配布事業	結婚	108
	出生	388
	新築	157
	還暦	181
緑化・美化運動事業	304	5,510,925

生け垣緑化推進事業補助金

申請件数(件)	交付額(円)
1	100,000

《 事業評価 》

生け垣緑化用の苗木配布や津市民緑と花の市の開催、記念樹の配布等により家庭や地域における緑化意識の向上に寄与することができた。また、多くの団体に緑化・美化運動に参加いただくことで、緑豊かで美しいまちづくりについてさらなる意識の醸成に寄与することができた。

災害に強く良好な都市景観の形成を目的とした生け垣緑化推進事業補助金については、1件の支援を行ったことから、今後も当該制度の周知に努めるなど積極的に活用を推進していく。

担当 都市政策課

款 8 土木費 項 5 都市計画費 目 6 市街地再開発費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
207,809 円	円	円	円	円	207,809 円

1 市街地再開発事業

予算現額 212,000 円
 事業決算額 207,809 円
 予算執行率 98.0 %

《 事業概要 》

土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図り、本市の玄関口である津駅の交通利便性を活かした駅前にふさわしい市街地形成を目指し、津駅前北部地区第一種市街地再開発事業の促進に向けた取組を進めた。

《 事業評価 》

津駅前北部地区第一種市街地再開発事業区域内の地権者の意向把握はもとより、県外先進事例の調査や全国市街地再開発協会主催研修会を通じ、本市の市街地再開発事業の促進に向けて有用な情報収集及び事例研究を行うことができた。

担当 都市政策課

款 8 土木費 項 6 住宅費 目 1 住宅管理費

決算額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
428,861,639 円	41,537,000 円	円	円	306,838,305 円	80,486,334 円

2 住宅管理事業

予算現額 167,801,000 円
 事業決算額 164,329,973 円
 予算執行率 97.9 %

《 事業概要 》

入居募集、入退去関係業務、施設の維持管理修繕業務及び家賃の収納管理業務を行った。

入退居状況

区分	定期募集	随時募集
募集戸数	60	17
応募者数	106	11
入居戸数	38	11
退居戸数	89	

施設修繕対応状況

区分	件数 (件)
修繕受付総数	1,121
うち職員による修繕	359
うち業者による修繕	762

《 事業評価 》

低所得で住宅に困窮している方を対象に、定期募集や随時募集を行い公平で的確な入退去関係業務を行うことができた。

市営住宅の維持修繕については、入居者の良好な住環境を維持するため、的確に対応し、日常生活に支障が生じないように努めることができた。

家賃の収納管理業務については、連帯保証人に対する履行請求や不当滞納者に対する建物明渡等請求など法的措置を見据えた実効性のある取り組みや退去滞納者に対する滞納家賃納付勧奨等業務委託等が成果につながり、現年度分の収納率は前年度から0.2ポイント減少したものの、過年度分の収納率は1.9ポイント上昇し、前年末に比べ収入未済額を約4,600万円縮減することができた。

担当 市営住宅課

4 住宅施設改修事業

予算現額 108,131,000 円
事業決算額 103,068,065 円
予算執行率 95.3 %

《 事業概要 》

市営住宅は昭和25年から建設が行われ、特に昭和50年前後において多数の住宅が建設され、老朽化が著しいため、順次施設の改修や改善整備を行った。

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
森団地58号ほか23戸外壁等改修工事	森町	外壁、手摺及び防水改修 2階建4棟 改修面積 (外壁) 1,018㎡	41,442,500
阿漕1号館アパート外壁等改修工事	柳山津興	外壁、手摺及び防水改修 4階建1棟 改修面積 (外壁) 1,826㎡	37,170,100

《 事業評価 》

居住水準の向上と住宅の長寿命化を図ることを目的に、計画的・継続的な施設維持を図るための社会資本総合整備計画（地域住宅計画）に基づき、大規模改修を行うことができた。

担当 市営住宅課